

地方史情報 150

2021年7月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	神奈川県	28	奈良県	51
青森県	6	新潟県	34	和歌山県	52
岩手県	7	富山県	35	島根県	53
宮城県	8	石川県	35	岡山県	54
福島県	10	長野県	36	広島県	57
茨城県	11	静岡県	39	徳島県	58
栃木県	13	愛知県	40	愛媛県	59
群馬県	13	三重県	42	長崎県	60
埼玉県	15	京都府	42	鹿児島県	61
千葉県	16	大阪府	45	沖縄県	62
東京都	19	兵庫県	49	寄贈図書	63

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400
年5000円

◇83 2021.5 B5 8p

アイヌ語地名研究会の行事を休止します

栗山町及び石狩平野のアイヌ語地名の神話的解釈についての補遺
新刊紹介 「アイヌ語地名の南限を探る」 筒井功著

中野 良宣
記・渡辺隆

◆浦幌町立博物館紀要

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2001年創刊
https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokoryiyo/museum/

◇21 2021.3 A4 54p

浦幌町立博物館所蔵の2020年度採集の蝶標本	荒川 和子
大樹町当緑湿原と海岸のトビムシ	須摩 靖彦
生剛村第二岐阜県殖民合資会社岐阜農場、農場主大野亀三郎、管理人 下野松太郎に関するメモ	後藤 秀彦
採集記録・観察記録	
オオモンシロチョウが再発生	円子 紳一
浦幌のウチダザリガニ駆除(2020年)	円子 紳一
アサギマダラを確認	円子 紳一
資料紹介 大正十五年・昭和元年 教育雑件 浦幌村役場(6)	
	三浦直春・大和田努 解説

◆浦幌町立博物館だより

- 〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2000年創刊
https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokuyoriyo/museum/
- ◇2020-3・4 2020.4 A4 2p
「木材のまち浦幌」を伝える鉛筆工場の写真(写真寄贈者の楫雀造氏からの聞き取り) 持田 誠
- ◇2020-5 2020.5 A4 2p
“コロナな世相”を語り継ぐために 持田 誠
新採用の図書館司書を紹介します 山崎 菜摘
- ◇2020-6 2020.6 A4 2p
「自粛警察」・「コロナ差別」… 時代の負の側面を歴史に刻む 持田 誠
手づくりマスクで展覧会
- ◇2020-7 2020.7 A4 2p
尺別炭鉱閉山50年 浦幌を支えた尺別 持田 誠
こんな資料を集めています! 「コロナな世相」を伝える
妊婦さん応援マスク(寄贈:浦幌神社 背古宗敬宮司)
Pick up Book〔注目の本〕『マンガでわかる東大読書』
西岡竜誠(原案)・小野洋一郎(著) 東洋経済新報社刊 山崎 菜摘
- ◇2020-8 2020.8 A4 2p
「MLA連携」を深めるために 図書館・博物館の複合施設 持田 誠
こんな資料を集めています! 「コロナな世相」を伝える 「チラシ自
粛」を告げるチラシ(株式会社福原/採集:浦幌町立博物館)
Pick up Book〔注目の本〕『リアルサイズ古生物図鑑』
土屋健(著)・群馬県県立自然史博物館(監修) 技術評論社刊 山崎 菜摘
- ◇2020-9 2020.9 A4 2p

マスクを集めて何がわかるのか？	持田 誠
こんな資料を集めています！ 新しい携行品「マスクケース」（ソー ゴー印刷株式会社寄贈）	持田 誠
Pick up Book〔注目の本〕『世界のしおり・ブックマーク意外史』 猪俣義孝(著)・株式会社デコ刊	山崎 菜摘
◇2020-10 2020.10 A4 2p	
博物館実習生が来ました	持田 誠
こんな資料を集めています！ 「コロナな世相」を伝える テイクアウトのお知らせ（浦幌町立博物館採集・収蔵）	
Pick up Book〔注目の本〕『仕事本 わたしたちの緊急事態日記』 左右社編集部(編)・左右社刊	山崎 菜摘
◇2020-11 2020.11 A4 2p	
北海道の鉄道は今年140年	持田 誠
こんな資料を集めています！ 「コロナな世相」を伝える 特急列車の減車・減便（浦幌町立博物館収蔵）	
Pick up Book〔注目の本〕『月と珊瑚』上條さなえ(著)・講談社刊	山崎 菜摘
◇2020-12 2020.12 A4 2p	
外来種について正しく知ろう	持田 誠
こんな資料を集めています！ 「コロナな世相」を伝える 困窮する学生たち（浦幌町立博物館収蔵）	
Pick up Book〔注目の本〕『発注いただきました！』 朝井リョウ(著)・集英社刊	山崎 菜摘
◇2021-1 2021.1 A4 2p	
外来生物で考える「命の重み」	持田 誠
こんな資料を集めています！ 「コロナな世相」を伝える お肌の悩みアンケート（浦幌町立博物館収蔵）	
Pick up Book〔注目の本〕『ピンポンパンポンプー』 劇団ひとり・中居正広・古市憲寿(著)・マガジンハウス刊	山崎 菜摘
◇2021-2 2021.2 A4 2p	
「一度も借りられていない本」展	持田 誠
こんな資料を集めています！ 「コロナな世相」を伝える 新春初売りとコロナ（浦幌町立博物館収蔵）	
Pick up Book〔注目の本〕『無戸籍の日本人』 井戸まさえ(著)・集英社刊	山崎 菜摘
◇2021-3 2021.3 A4 2p	
今日も博物館はチラシを集める	持田 誠

こんな資料を集めています！「コロナな世相」を伝える

紳士服が売れない（浦幌町立博物館収蔵）

Pick up Book〔注目の本〕『たまたま、図書館長。』

鳥越美奈(著) 郵研社刊

山崎 菜摘

◆標茶町博物館紀要

〒088-2261川上郡標茶町字塘路原野北8線58-9 TEL015-487-2332 2020年創刊

◇2（通31）2021.3 A4 60p

表紙 新たに開館した北海道集治監釧路分監本館（平成31年4月）

コサナエ連結ペアに干渉する同種2雄と異常連結観察

佐々木誠治

西別岳におけるカラフトトリシジミの生息確認調査報告(1)

高橋優花／飯島猛美／田中和江

北海道東部・根釧原野における温暖化がもたらす気候変動

小荷田行男

別海町三股「北海道神山村分村計画」

—そこで暮らした人、その家族・親戚の語りの記録

阿知良洋平

北海道集治監釧路分館本館 開館記念フォーラム実施状況について

標茶町教育委員会

基調講演「地域創造、拠点としての集治監跡」

佐藤 宥紹

パネルディスカッション テーマ「未来につなげる北海道遺産」

コーディネーター 佐藤宥紹／パネリスト 櫻

庭誠二・坂保穂・坪岡始・今野久代・大和田努

標茶町博物館 令和元年度活動報告

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒063-0037札幌市西区西野七条9-7-5 TEL011-676-6145

年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org/>

◇69 2021.4 B5 80p 1000円

巻頭言 精神遺産としての屯田魂

梶田 博昭

戦場からの手紙を読んで

荒井 勇雄

屯田兵が乗ってきた船

江口 憲人

歴史探訪 屯田に関する石碑—札幌近郊編(1)

武石 詔吾

屯田兵のデザイン考 山鼻屯田兵(肖像写真)

頑健な体躯に透ける「兵農一如」

古地図の散歩道 第七師団旭川衛(営)戌地全図 明治36(1903)年作

成・縦47cm横64cm(旭川市図書館所蔵)

第七師団旭川営戌地全図 北門の重鎮 堂々と聳える

宮内 隆一

屯田ルーツ情報 稲田家の片扶持制度と屯田兵／消息情報 江別・橋
本熊吉氏(明治18年7月入地、佐賀県出身)、北一已・塚田半次郎氏(明
治28年5月入地、香川県出身)

表紙から 古文書録 コレラ報告書 明治10年・陸軍省 開拓使

敗者の明治維新と北海道移民・屯田兵

北国 諒星

屯田兵ゆかりの方・郷土史家の皆さまへ

一節抜粋 関秀志著『北海道開拓の素朴な疑問を関先生に聞いてみた』

授業形式で開拓使を分かりやすく解説(E)、若林滋著『町村金五
の二十世紀』警視総監から道知事、国会へ功績をたどる(O)

兵村では米づくりを禁止されていたのか

一稲作禁止令における処罰の検討

有馬 尚経

研究会リポート

滝川兵村積穀騒動の真相一陸軍省大日記の公開史料から

編集部

髪型は右分け？左分け？

(K)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇383 2021.4 A4 8p

大日本果汁(ニッカ)のウイスキー 第一乾燥塔と第二乾燥塔(手前) 浅野 敏昭
令和3年度協会事業 多彩に保護・啓発

「文化の礎」一野面積み

玉井日出夫

シリーズ 伝える

「樺太アイヌ」強制移住108戸 江別市対雁に立つ墓碑

石垣 秀人

まちのイチョシ 明治期の山梨県からの移住と豊浦町

渡邊つづり

第3回文化財講演会 ことばと文化にみるアイヌ民族の歴史

丹菊 逸治

博物館ひろば マチの歴史を伝えること 苫前町郷土資料館

今野 雄一

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階 TEL011-271-4220

1961年創刊 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇93 2021.3 A5 112p

表紙写真解説 阿野呂川水門／裏表紙写真 北空知頭首工

写真・文責 卜部信臣

巻頭言 持続可能な文化財への興味関心

遠藤絃之助

標津遺跡保存活用への取り組み

小野 哲也

樺太引揚後の生活とその位置づけ—ある女性の回想から	尾曲 香織
軽川地名伝承に挑戦する—永田方正説を補正すね旅	沖田 絃昭
「金田一京助博士の歌碑」小考	犬塚 康博
忘れられた後嗣「庵原久作時敏」—庵原一族の系譜	吉原 裕
蜂須賀農場第二場主蜂須賀正韶侯の最後の来道	橋本とおる
昭和20年8月15日 かんかん照りで拝聴した玉音放送	佐藤 公聰
北海道林業史と十勝三股林業遺跡の保存課題	山田 大隆
栗山町(旧角田村)学田と札沼線	卜部 信臣

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究 室蘭地方史研究会

〒051-0002室蘭市御前水町3-5-7 関村和義方 TEL0143-24-0872 年3000円

◇55 2021.3 A5 96p 1000円

表紙解説 室蘭市ホームページ「日本遺産産炭鉄港構成文化財旧火力

発電所(日本製鋼所)」より転載

巻頭言 新型コロナウイルス禍の中で

関村 和義

調査研究報告

二つの資料から

菊谷 彰

磯村豊太郎の胸像はどこに？

平井 克彦

「玉虫厨子」(模造)がやって来た

久末 進一

島岡家資料目録

葛西 一夫

室蘭地方初期医療覚え書き

及川 勝芳

室蘭の巨樹たち—「共生」と「追憶」

成田 弘

依頼解説 フェリーふ頭で見つかった明治期のレールについて

谷中 聖治

青 森 県

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会

〒033-0022三沢市字園沢219-211 小比類巻満方 TEL0176-54-2583

2005年創刊

◇17 2021.3 B5 76p 1000円

表紙 二本剣(岡三沢神楽)

口絵 二本剣について／岡三沢神楽の成立ちについて／江戸時代の巡

見使記録から

解説・山本優

巻頭言

小類巻 満

『上北新誌』に見る大正十四年の三沢(3)

資料提供・故 河村 員伸

三沢村ものがたり(Ⅲ)

故 米田 清蔵

三沢の古代・中世・近世など	故 皆川 勝信
終戦前後の我が村の記録(2)	馬場 操
「あおり教育の日」の講演を振り返り	山本 優
三沢漁業略史—明治・大正の頃	小比類巻みつる
共同 追補「三沢の方言」	馬場操・三沢郷土史研究会
会報にみる一年間の活動概要 令和二年度の動向（会報第163号・第164号）	

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇150 2021.3 B5 80p

《第150号記念号》

広須新田の歴史の変遷(上)	佐藤 文孝
弘前藩領における勸化について	篠村 正雄
城下町八戸における町人負担—町役と諸繫諸掛	三浦 忠司
書評 新しい歴史認識をめざして—盧泰教著『古代朝鮮 三国統一戦争史』を読む	黒田 洋子
『弘前大学 國史研究』第101号～第150記念号 総目録 (附・著書別索引)	

岩 手 県

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒024-0051北上市相去町旧館沢43-6 花部英雄方 1971年創刊

<https://mukaden.amebaownd.com>

◇40 2021.3 A5 100p

異類婚姻譚における殻・皮・衣とはなにか	花部 英雄
「泡子の話」の諸相—南方熊楠「『末摘花通解』補説」をめぐる	小堀 光夫
江戸期の話—「吉野秀政説話集」を読む	中村とも子
朝鮮民主主義人民共和国における説話集の刊行過程に関する考察 —学友書房版『我が国の昔話』の発刊に至るまで	金 廣植
翻刻 鳥居清経『駿河清重 伊達紙子笈捨松』(安永五年)	三田 加奈
報告 飛鳥の語り(2)	清野 知子
令和二年度日々の俗信・世間話報告	永島 大輝

宮 城 県

◆道鏡を守る会 道鏡を守る会

〒989-6156大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 TEL0229-22-7364

年3000円 1985年創刊

◇44 2021.4 B5 92p 1000円

孝謙・称徳天皇没1250年(続)

孝謙・称徳の生年(通信より)／安倍内親王の苦悩(高橋昭夫) 会誌

42号に問題提起／称徳没1250年忌に

東大寺と孝謙／西大寺と称徳／称徳のエピソード(鈴鹿市・子安観

音縁起より) 高橋義泰氏読みくだし

フセギとマスク

倉石 忠彦

会誌四十三号を受け取り

森本 裕之

自称ただの資料会員ですが

小菅 大康

『昭和の遺言 十五年戦争』を受け取り

渡辺 力榮

読み物 天長節一国民学校一年生

くがもりよし

ほんとうの悪人とは

菅原 祐輔

道鏡通信より

朝日栃木県版の三悪人の史跡を巡る記事(2018.2.3)を読んでの観想

三悪人というが、裏を返せば

松田 尚嗣

史上三悪人に道鏡は入るか

田村新太郎

ベートーヴェン

村上 清美

役得紹介いくつか

郷土の地名考(祇園・山王)

辻 正次

知りたいこと

大西 旦

湯治した道鏡と女帝

本田 義幾

複都制と斎宮の公園を聞いて

杉本 信之

斎宮のこと

高橋 昭夫

ゆううつな遣唐使

和気 正芳

やはり唐へ行ったのでは?

樽府 進

私も道鏡は中国へと思うのですが

本田 義幾

道鏡は遣唐した?

田村新太郎

二通の道鏡書から

山野としゑ

正倉院の道鏡書(通信より)／民間写経想像(通信より)

弓削道鏡禅師の皇統説

田中 實之

道鏡皇胤説をみる

田中 弘善

天の香具山	萩原 憲司
藤原仲麻呂の乱	石川善十郎
本田氏のご意見等に関して（拙著『講座 天武王朝の興亡』）	大塚泰二郎
下野薬師寺の創建年代	須田 勉
由義寺塔基壇の発見とその意義—幻の寺院から謎多き寺院へ	樋口 薫
難をのりこえ 飛躍的なこの十年	本田 義幾
追 悼	
辻正次さんを想いつつ	（本田）
辻ますみ（正次様ご夫人）	
島崎富美子さんと中島尚子さんを追悼しつつ	（本田）
毎回感想を寄せて下さった佐伯眞澄氏を偲んで	（本田）
安藤淑恵（中島尚子さんの娘さん）／和氣三恵子（正芳さんご夫人）	
ご生前の船生史郎氏のおたより	
古代物部氏と先代旧事本紀の謎	高橋 昭夫
荒脛巾（アラハバキ）の神	高橋 昭夫
道鏡さんハガキ通信より抜粋／道鏡通信から小文（文責本田） 道鏡を	
語れるのは私達、国賊扱いの風土は今も残る…	（本田）
伝承の検討	
I 伝承は関係者に残されて広まる／II 義経伝承を手本に	（本田）
道鏡通信2021年 伝承の検証 仏師道鏡	本田 義幾
古い通信から 道鏡は無能と思われていた？／お水取りとお水送り／	
大仏開眼会参列僧一万人／正倉院の薬物／正倉院からの借り出し、	
開封	（本田）

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科

Tel022-795-6022 2005年創刊

◇16 2020.12 A5 245p

ギリシャの一山村における宗教生活—「庶民信仰」の事例	華園 聰磨
医療施設における宗教的背景と宗教家の活動形態 質問紙による実態	
調査 谷山洋三／山本佳世子／森田敬史／柴田実／葛西賢太／打本弘祐	
近世飢饉災害における宗教者の救済活動：施行と水陸会	
一享保の飢饉と『天下太平豊年記』を中心に	朴 炳道
宗教的倫理の進化—教典の分析を中心に	勝丸 浩之
宗教者によるスピリチュアルケアの制度と実態	
一台湾の臨床仏教宗教師と日本の臨床宗教師の比較を通して	方 東岳

仏像胎内に納められたタカラガイの意味

一三重県津市四天王寺の薬師如来坐像の事例から
インドネシア ジャワにおける Hantu について

佐藤 亜美

Nyai Ratu Kidul の概略と変貌

宮崎 裕子

土地の記憶とともにある石巻研究一序論的考察

奥堀亜紀子

「学び」の場としての仏教寺院一寺子屋活動の展開を事例に

門脇 郁

1000_01_2017

東北 宗教学

編集 藤原 敏雄	ゼリシエの一団村における宗教生活 ——「宗教生活」の展開——	1
田山洋吉	山本徳孝子、藤原敏雄、藤原 真、藤原 真、田山洋吉、田山洋吉 東北地方における宗教の発展と宗教家としての田山洋吉	29
村 明雄	近年の東北に書かれた宗教の歴史と現状 ——東北の宗教と「宗教」の歴史——	43
藤久 浩之	宗教の発展の歴史 ——東北の宗教と「宗教」——	101
方 東良	東北地方における宗教の発展と現状 ——東北の宗教と「宗教」——	131
佐藤 亜美	仏教胎内に納められたタカラガイの事例から ——三重県津市四天王寺の薬師如来坐像の事例から——	163
宮崎 裕子	インドネシア・ジャワにおける Nyai Ratu Kidul について ——Nyai Ratu Kidul の概略と変貌——	189
奥堀亜紀子	土地の記憶とともにある石巻研究 ——序論的考察——	215
門脇 郁	「学び」の場としての仏教寺院 ——寺子屋活動の展開を事例に——	215

*記事は、本誌「後記」に。

◆東北文化研究室紀要

〒980-0862仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 1959年創刊

◇61 2020.3 B5 98p

元和・寛永前期の三戸城一南部利直の移住と普請・作事

熊谷 隆次

磯山技法の再検討

須賀永帰／鹿又喜隆

東日本大震災からの生活再建期における地域生活支援の現状と課題

一宮城県本吉郡南三陸町の事例から

永井 彰

宮城県に住むムスリムたち

西川慧／艾煜

◇62 2021.3 B5 26p

東北地方の談話資料に見られる終助詞「モノ類」の形態的変異の地理

的分布

小原雄次郎

井井貢の『大学』解釈について

楊 世帆

福 島 県

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12号室 山田英明方 2015年創刊

◇41 2021.4 A4 2p

白虎隊記念碑と昭和天皇

白石 烈

フークトープ紀行(41) 春日八郎のふるさと(会津坂下町)

菅野 俊之

◆福島県民俗 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 TEL0242-28-6000

年4000円 1973年創刊 <http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇49 2021.3 A5 101p

コロナ禍における民俗芸能の継承について

—じゃんがら念仏踊りの事例

田仲 桂

『会津農書』にみる地方維持と民俗

—「田秋塢生」と「田冬水」を中心に(上)

佐々木長生

江戸時代前期の土津神社上棟式の記録

—『会津鑑』と『家世実紀』から

小澤 弘道

二本松神社例大祭の太鼓台(前編)

喜古 康浩

歌舞伎からの伝播 県内の祭礼獅子・祭屋台の分布

—福島県内の祭礼囃子の源流(15)

相原 達郎

資料紹介 史料 四家家『定例帳』(3)(九月以降)

四家 久央

民俗短信

安達太良神社祭礼の太鼓台に関する一考察

飯田 哲也

石川町の「二号研究」

菅野 拓

書評・書誌紹介

『山口弥一郎旧蔵資料調査報告書』

金子 祥之

福島県立博物館(内山大介)編『震災遺産を考える 次の10年へつな

ぐために』

大山 孝正

『只見とっておきの話Ⅱ』

佐々木長生

日本民俗学会編『民家を知る旅』

小澤 弘道

「郷土下高久を学ぶⅡ」受講生・丹野香須美編『下高久の年中行事』

岩崎 真幸

茨 城 県

◆現代民俗学研究 現代民俗学会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院人文社会科学研究科

歴史・人類学専攻内 2008年創刊

◇13 2021.3 B5 104p

ドイツ語圏における現代伝説の受容—ロルフ・W・ブレードニヒ『観

葉植物ユッカの蜘蛛：現代伝説』への投書とその後 金城ハウプトマン 朱実

コメント 金城論文へのコメント

飯倉 義之

崇る中世—愛媛県菊間町の戦国落城伝説

片岡 樹

「脱日常化しない祭り」における日常と非日常

—青森ねぶた祭に参加する「旅人跳人」の実践に着目して

野統 祐貴

コメント 野統論文へのコメント

阿南 透

現代の湯治における保養についての一考察

永岡 圭介

批 評

深沢論文へのコメント（深沢佳那子「祭りにおける性的儀礼の正当

性—伊豆稲取どんつく祭りと素戔鳴神社の夏祭りを通して」『現

代民俗学研究』12掲載）

川村 邦光

三隅論文へのコメント（三隅貴史「御輿を担ぐことの文化政治—東

京圏の御輿渡御・御輿パレードを事例として」『現代民俗学研究』

12掲載）

武田 俊輔

「はげ山」研究の新しい論点

渡部 圭一

第48回研究会

趣意書 アートの民俗学的転回、民俗学のアート論的転回

菅 豊

コーディネーター報告 民俗芸術論的転回—民俗芸術(folk art)か

らヴァナキュラー芸術(vanacular art)へ

菅 豊

第49回研究会

趣意書 葬儀の変化と地域社会

関沢まゆみ

概 要

第50回研究会

趣意書 民俗学の論点2020

島村 恭則

第1報告 「日常」が問うもの

—あるいは「日常」で何が見えるのか

岩本 通弥

第2報告 古くて新しい「日常」の課題の再発掘

俵木 悟

第3報告 「フィールドとしての農村」という課題

加藤 幸治

第4報告 多様化する文化政策と民俗学

内山 大介

第5報告 民俗学をもっとひらこう

菅 豊

第6報告 言うてるコトと、為してるコトの間で考える

土居 浩

第7報告 「記述の学」を超えて

—現代民俗学の方性にかんする一考察

三隅 貴史

第8報告 私たちは〈誰〉に向き合っているのか

川松あかり

第9報告 新世代への期待と支援

一現代民俗学の発展的再生産のために	島村 恭則
コーディネーター報告	島村 恭則
第51回研究会	
趣意書 死者と生者をつなぐアート	
一多様な慰霊を生み出す想像力と創造力	菅 豊
コーディネーター報告 「架橋」としての慰霊アート	西村 明
第52回研究会	
趣意書 シリーズ「フィールドとしての農村・再考」Part1	
農民文学／農村問題から民俗学史を拡張する	加藤 幸治
第1報告 課題としての「土」—もうひとつの「野の学問」の水脈	加藤 幸治
第2報告 吉田三郎・幻の農民文学「我田引水」	今井 雅之
第3報告 体験と実践のフィールド学	
一昭和期東北の農村問題と山口弥一郎	内山 大介
コーディネーター報告	加藤 幸治
年次大会報告要旨	
「カラオケ喫茶」についての一考察—奥三河の事例を中心に	大崎 洋

栃 木 県

◆歴史文により 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇119 2021.4 A4 4p

《特集 近世下野の旅・街道・宿場》

十一代將軍家斉の日光社参と小山

尾上 仁美

日光例幣使と鹿沼一公家たちの通行と人びとの対応

堀野 周平

『おくのほそ道』の旅 下野篇

新井 敦史

近世下野の伊勢参宮

石川 達也

群 馬 県

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-226-6246
1993年創刊 <http://www.asahi-p.co.jp>

◇56 2021.4 AB 36p 300円

《元総社・総社地域特集》

歴史を掘る 横壁中村遺跡出土の縄文土器	藤巻 幸男
ロマン感じる群馬に身を置いて	金子 昌彦
新旧会長あいさつ	唐澤太市前会長／茂原璋男新会長
第28回 石川薫記念地域文化賞 功労賞 関口覺／研究賞 高島英之	
／奨励賞 青木祐子／受賞者のプロフィール	事務局
発掘情報 上野国府跡調査の最新成果	阿久澤智和
ぐんまの歴史入門講座	
第218講 原始・古代 上野国府と平将門	中村 光一
第219講 近世 心窓院の供養と力田遺愛碑	松田 猛
第220講 近現代 組合製糸群馬社の盛衰	宮崎 俊弥
第221講 元総社・総社地区の石造文化財 石造文化財の見方(45)	秋池 武
古文書解読入門講座(43)―古文書から歴史を読む	
惣社大明神の祭礼番附―前橋市元総社町伝存史料から	樫沢 恭子
特別寄稿 蒼海城趾への郷愁	長尾 悦治
史跡をめぐる 総社古墳群と山王廃寺	小川 卓也
ぐんまの人物誌	
福島武雄と古墳研究―群馬県における本格的古墳研究のはじまり	右島 和夫
地域づくりと文化遺産 総社秋元歴史まつり	宮田 和夫
ぐんまのくらしと民俗	
一本木稻荷神社の祭り	立見 俊明
明神様の本祭り	小野澤利智
研究・学習サークル活動紹介	
総社歴史勉強会	吉澤 信明
元総社地区歴史を学ぶ会	城田 博巳
地域文化Q&A 上野総社神社 総社神社とはどういう神社なのです	
か？／総社神社はなぜ元総社にあるのですか？	松田 猛
博物館・資料館訪問	
前橋市総社歴史資料館	岡田萌／宮健人／水落建哉
一枚の写真から… 室田宿清水屋酒造店(高崎市下室田町)	清水 喜臣
礫石経の世界(2) 「菩提木経塚」のこと	唐澤 至朗
上州の関所と番所(2) 猿ヶ京・戸倉関所と国境固め	岡田 昭二
ぐんまの自然と風土 世界かんがい施設遺産 天狗岩用水	立見 俊明

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<http://blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/>

◇342 2021.4 A5 82p

憲政政権の成立と崩壊

久保田順一

小田原合戦における北国勢の松井田城攻めと進軍

飯森 康広

日露戦争下の養蚕学校と教師豊田熊次郎

一郷里への手紙と豊田勇の作品から

松田 猛

群馬の歴史的建造物(3) 白岩観音と水澤観音

栗原 昭矩

動向 「中之条歴史ともの会」の活動

岩瀧 集樹

新刊紹介

藤井茂樹著『家伝秘録』からみた山村の近世史—金子照泰の精神世界』

丑木 幸男

館林市史編さん委員会編『館林の寺社と史料』

藤井 茂樹

水田稔著『利根沼田地域 弥生時代遺跡総覧』

石北 直樹

口絵 綿貫観音山古墳出土の銅水瓶—群馬県立歴史博物館蔵品資料(143)

深澤 敦仁

埼 玉 県

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サポートセンター メールボックスB13 年3000円 1975年創刊

<https://saitama-chihoshi1952.blogspot.com>

◇81 2021.4 A5 54p

大蔵合戦と新開氏の誕生

山野龍太郎

忍藩領分杭の成立・建替の経緯と意義

加藤 功

動向／書籍紹介

武蔵野文化協会編『武蔵野事典』の刊行

加藤 功

『フィルムのなかの埼玉 一九四七—一九六四』

—『埼玉県史叢書』の新たな取り組み

雨宮 史樹

動向 認証アーキビストの誕生と期待

太田 富康

◆武蔵野 武蔵野文化協会

〒362-0011上尾市平塚976-5 加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918

年4000円 1918年創刊 <https://musashinobunka.jp>

◇361 (91-1) 2021.4 A5 52p

《特集 「武蔵野事典」刊行の意義と活用》

鼎談 「武蔵野事典」刊行の意義と活用

坂詰秀一／樋渡達也／加藤功

編集委員が語る「武蔵野事典」

「考古編」歴史時代(中世～近現代)の項目選定と執筆内容について	松原 典明
「考古編」と年表と博物館案内の利用法	高麗 正
「武蔵野事典」は百年をつなぐ	宮瀧 交二
中世編前期(鎌倉時代)の総括の執筆内容について	彦由三枝子
「武蔵野事典」づくりに参加して	石井 清文
「南北朝・室町・戦国時代の武蔵国」について	井上 恵一
「武蔵野事典」寸感	小川 一義
近現代「武蔵野」探求のきっかけに	佐藤 美弥
「武蔵野の道編」の活用	加藤 功
「民俗編」の項目選定と内容について	関 孝夫
「武蔵野の文学・地誌編」について	森内 優子
「文化財編」立項の困惑	杉山 正司
「武蔵野と建築」に寄せて	佐藤 美弥
「人物編」についての雑感	島田 正人
武蔵野人が書いた「武蔵野事典」	矢嶋 洋一
寄稿「武蔵野事典」の社会科授業活用	長島 一浩
「武蔵野事典」刊行略年史	事務局
追悼 竹内誠先生・木村旭志翁	坂詰秀一／事務局
平成三十一年度(令和元年度)総会報告／ホームページ開設	事務局

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇227 (通534) 2021.5 A4 12p

3月28日(日)の歴史部会活動報告

我孫子市の正月行事「オビシャ」一年の初めのトウヤ引継の祭 近江 礼子
井上家文書研究部会 4月の活動報告 文書の解説 堤上置人覚 寛
政2年戊2月、水戸家御鷹場御焼印返上 寛政元年酉7月、御吟味
ニ付奉申上候書付之事 寛政3年10月 松本 守
古文書解説日曜部会 4月の活動報告
保十四年「道中日記」(増田惣兵衛家文書) 脇 明子
古代史研究グループ 4月の活動報告
テーマ「相馬郡衙と正倉について」 報告者・星野征郎

野馬の病を捕手長三郎はどう手当てした？／馬の毛色いろいろ

東 日出夫

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇26 2021.4 A4 12p

志津の地名について(15)

小字地名「御屋敷」考

志津地区の「原ヶ作」

佐倉市の寺院トリビア(1) 何故 弥富の寺院は日蓮宗だらけ

公園地名シリーズ(3) 佐倉地区の公園名の由来

地名崩壊

佐倉地名研究会活動通信 令和3年度散策会の日程／地名の由来散歩

道 甲斐、匠瑳／令和2年度歩く会記録

田中 征志

野村 忠男

平田恭一郎

伊藤 清

小川 眞資

瀬田貴久子

◆西上総文化会報

〒292-0833木更津市貝渕1-11-4 TEL0438-25-2003

◇81 2021.3 B5 152p

巻頭言 会報八十一号発刊にあたって

特集 戦後七十五年

私の歴史散歩(2) 子供の目に映った戦争の記憶

戦時下の暮らしと戦後の教育

戦後を振り返る

軍靴の足音

終戦時の頃 姉範子の絵日記より

八重原墜落機(B29搭乗員の墓)追憶

戦後の思い出「あの匂いは？」

稲村喜勢子と藤みほ子 二つの箱根日記

旧請西藩主林忠崇侯 自筆の「戊辰出陣記」を読む(3)

保科弾正忠宛の書簡(か)

木更津を駆け抜けた「韋駄天」～金栗四三と秋葉祐之

請西藩領松崎村 東條喜惣治について(1)

下総国矢作の領主・肥前鹿島藩主、鍋島忠茂公の波乱の生涯

井上筑後守政重のキリシタン対応と海外知識

史料紹介 国勝神社「御本所被命御書付写」について(1)

コロナ禍下に思う

八田 英之

廣部 雅昭

鬼形むつ子

和地 妙子

大網 克子

藤浪 禮子

上 総 行

川俣 公男

八田 英之

諏訪 貞夫

今井 裕

栗原 克榮

上 総 行

今草倍みのり

村田 峯生

野崎 竜太

中嶋 美夫

移動研修レポート 西上総の中世を訪ねる(第666回例会)	中嶋 美夫
研究発表 研究発表Ⅰ(第665回例会) 西上総の中世を旅する	栗原 克榮
西上総文化会令和二年度理事会報告 コロナ禍の西上総文化会の活動	八田 英之
第663回例会 新型コロナウイルスのため定期総会に代わり理事会	
第664回例会 移動研修会Ⅰ 西上総の中世を訪ねる	
袖ヶ浦・木更津・君津・富津各市	
第665回例会 研究発表会Ⅰ 西上総の中世を旅する	
第666回例会 移動研修会Ⅱ (コロナ禍のため中止)	
第667回例会 木更津市文化祭参加 第七回西上総文化展	
第668回例会 祝賀と忘年の会 (コロナ禍のため中止)／祝 本吉光隆	
氏旭日双光章受章 (川俣公男)	
第669回例会 研究発表会Ⅱ (コロナ禍のため中止)	
第670回例会 移動研修会Ⅲ 西上総の戦国時代を訪ねる	
歴史ミニ情報	
コロナ検査の謎	八田 英之
江見水蔭の書画軸	藤平 俊雄
ジーパン考	川俣 公男
医師沼野玄昌の災難	八田 英之
西上総文化会発足時の会員	藤平 俊雄
書家寺本海苔	藤平 俊雄
旧・伊豆島村の「御飯塚」伝承	今輩倍みのり

◆松戸市立博物館紀要

〒270-2252松戸市千駄堀671 TEL047-384-8181 1994年創刊	
www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/	
◇28 2021.3 A4 83p	
口絵 松戸市坂之台遺跡(第2地点)出土旧石器の石材／「こどもミュージアムたいけんてちょう」	
加曽利B2式斜線文土器の施文具	
ー松戸市後田遺跡・貝の花遺跡出土土器を対象として	西村 広経
松戸市坂之台遺跡(第2地点)の旧石器石材の再検討	
ー構成岩石種と産地の推定	柴田徹／大森隆志
企画展「こどもミュージアムーおとなも楽しい歴史体験ー」とその展	
示利用者調査一試作展示の評価と課題	村井良子／青木俊也／佐々木ふゆ子
史料紹介 高城忠雄家文書目録	中山文人／平賀涼子／山岸未来

◆まつど文化の MORI

〒270-2252松戸市千駄堀671 TEL047-384-8181 松戸市立博物館 2021年創刊

◇1 2021.3 A5 12p

M：森の中で自然と 21世紀の森と広場

おすすめ1 光と風の広場／おすすめ2 千駄堀池／おすすめ3

森のこども館／四季ごよみ

O：音楽、演劇と 森のホール21

R：歴史と文化を 松戸市立博物館

おすすめ1 縄文時代／おすすめ2 団地／復元堅穴住居／おうち

ミュージアム

I：一日中、楽しめる

東 京 都

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇638 2021.4 A4 4p

昭和足立の芸術家 門井掬水の色紙—岡田新右エ門との交友

小林 優

あだち民具図典(4) 黒漆内朱蒸物容器

萩原ちとせ

足立氏ゆかりの星兜鉢 東京国立博物館で公開

(学芸員 多田)

はい、文化財係です。(26) 石造聖観音及び地藏坐像

佐藤 貴浩

◇639 2021.5 A4 4p

やさしき名の名所 綾瀬川—江都第一の勝地

多田 文夫

あだち民具図典(5) 天秤棒(1)

萩原ちとせ

はい、文化財係です。(27) 茂出木家と煉瓦

佐藤 貴浩

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇397 2021.4 A4 8p

千住の鷗外碑 橋井堂跡地を確認する

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(9)

編・堀川和夫

足立の先人譚 千住に地縁・周縁を結んだ人々 千住一丁目編(下)

小林条三郎、広瀬屋(山本仙之介・木村達尾・藤林鬼一郎)、橋本盧

山／千住二丁目編(上) 永野彦衛門政重、新井図書政次、中根半嶺、

巻菱譚

相川謹之介

足立区郷土史料刊行会復刻資料

見学・レンガ遺構

森鷗外と川合栄治郎 千住知のパワースポット

相川謹之介

ファシズムは反マルクスの自由主義学者も弾圧 「河合栄治郎公判記

録」から（公判記録・中央公論 昭和二十四年一月号附録）

小泉健男氏遺文 キャベツ／蓮の飯／十両の給金／星兜

◇398 2021.5 A4 8p

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針（文部省資料昭和21.5.1）（10）

編・堀川和夫

足立の先人譚 千住に地縁・周縁を結んだ人々 千住二丁目編（下）

赤門勝専寺、富岡芳堂

相川謹之介

足立区文化団体70周年展示 4月25～28日・区役所 俳句連盟役員作品

区民教養講座・12月6日 金澤利明先生のお話を聞いて 田邊治代さ

ん（歴史散歩の会通信3号から転載）

文化団体連合70周年展から あだち拓本研究会

総会資料 I・令和2年度事業／II・令和3年事業計画

◆解放研究 東日本部落解放研究所紀要／明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇32/128 (47-3) 2021.5 A5 182p 2000円

扉 東日本部落解放研究所第35回総会 内田龍史さんによる記念講演

講演 部落差別とアイデンティティー被差別部落のアイデンティティ

についての研究過程 2020年7月25日

内田 龍史

弘前藩における娯楽受容と「乞食」集団

—「乞食」集団による「軽業」興行の歴史性

浪川 健治

渡良瀬川の慈しみ—流域に刻む物語

安田 耕一

史料紹介 『ファー・イースト』に掲載された被差別民関係記事

鳥山 洋

『部落問題入門』東京の部落問題と現代の人権侵害

吉田 勉

マーク・ラムザイヤーによる部落問題に関する論文の問題点

東日本部落解放研究所事務局

◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133 1999年創刊

◇23 2021.3 B5 102p

小特集

- 七社神社前遺跡出土資料からわかった縄文時代前期の新たな諸相
はじめに 安武由利子
七社前遺跡出土土器の種実圧痕からみた縄文時代前期の植物利用 佐々木由香
縄文時代前期における漆工芸と素地製作技術
一七社神社前遺跡出土の諸磯式浅鉢形土器の研究 蒲生 侑佳
分析報告 レプリカ法とX線透過撮影による土器の種実圧痕の検討
山本華／佐々木由香／竹原弘展
赤羽飛行機製作所飛行場に関する一考察—新資料による解明 本間 孝夫
『万葉集』豊島郡上丁棕椅部荒虫妻宇遲部黒女の歌について 谷口 とし
資料紹介
明治期旧派俳諧師の動向—「滝野川村戸部家文書」俳諧資料 田中 葉子

◆月刊神田画報 カンダデザイン

- 〒101-0064千代田区神田猿楽町2-2 澤田ビル206 TEL03-3296-7121
◇160 2021.4 A4 4p
昔むかしの神田探訪(78)
駿河台にあった文士の宿「駿台荘」と名物女将 酔馬 主水

◆現在学研究 現代学研究会

- 〒146-0091大田区鵜の木2-33-81 2018年創刊
◇7 2021.10 A5 78p
民俗学の過去の趣向と脱浪漫主義、そして都市民俗学から“現在学”
まで：一九六〇、七〇年代韓国民俗学の現代的新知識投入期の回想
李相日／翻訳・倉石美都
生活歴の方法：「年中行事」研究を考える 倉石 忠彦
実話怪談の未成感と解釈について：「型」からの逸脱と「物語」の拒否
伊藤 龍平
新住民による地縁の形成 高久 舞
韓国の健康法覚書 倉石 美都
書評 中込睦子／中野紀和／中野泰編著『現代家族のリアル—モデル
なき時代の選択肢』 倉石 美都

◆交通史研究 交通史学会（発売：吉川弘文館）

- 〒161-8539新宿区中落合4-31-1 目白大学社会学部地域社会学科
鈴木章生研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>
◇98 2021.5 A5 102p 2500円

美濃路起宿加藤本陣家の経営形態	宮川 充史
戦後の比叡山における自動車道建設と「比叡山綜合施設計画」	卯田 卓矢
十字路	
「日本の巡礼」の諸相—愛媛大学ミュージアム常設展によせて	胡 光
書評 井田泰人編著『鉄道と商業』	廣田 誠
新刊紹介 松田裕之著『佐々木莊助 近代物流の先達—飛脚から陸運	
の政商へ—』	山根 伸洋
例会報告要旨 2020年度第1回例会	常任委員会
太々神楽執行記録にみる三井越後屋の伊勢参詣	五味 玲子
徳島藩の駄路寺に関する再考察	
—東アジア仏教文化圏における宿坊との対照的観点から	和栗 隆史
常任委員会報告	常任委員会(文責・玉井幹司)
日本最古の鉄道遺構「高輪築堤」の保存問題について	
	常任委員会(文責・寺門雄一)

展覧会情報

訂正記事 一、九七号掲載の史料紹介「行徳船の新史料」に関する訂正

正／二、書誌情報等に関する訂正 文責・玉井幹司

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース 練馬区立石神井公園ふるさと文化館
 〒177-0041練馬区石神井町5-12-16 TEL03-3996-4060
<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>

◇40 2021.3 A4 4p

分室特集展示「生誕一〇〇年 五味康祐 時代は揺れ、五味は書いた」表紙：書斎にて（昭和51(1976)年 写真提供：文藝春秋）

企画展「石神井城 中世豊島氏ここにあり」／分室特集展示「生誕一〇〇年 五味康祐—時代は揺れ、五味は書いた」

夏の企画展のお知らせ 練馬区域の絵図・地図に関する展覧会を開催します／令和3年度展覧会年間予定

分室コラム「68年目の発見！五味康祐芥川賞正賞の時計」／サポーターコラム（内田家の古民家）

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
 年6000円 1993年創刊

◇113 2021.4 A4 6p

戦国期小田原城の調査で敷石遺構が出土

最近の城郭ニュースから

庭園跡か？ 小牧山城第十三次発掘調査から

一の門建造は信長でなく道三？ 岐阜城跡発掘調査を成果から／鹿

児島本丸の表門「唐御門」礎石が出土／広島城天守木造復元に向

けて令和二年度第三回有識者会議開催

飛鳥時代の「狼煙台」

戦国・近世の伊達の城

文・竹井英文

最近の注目される城郭図書から 高井勝己著『図説・石川県の城Ⅷ

続・能登加賀の山城 追録編2』、金子浩之編集『季刊考古学 第

一五四号 特集・津軽と考古学』

各地の城郭研究会の活動から 日本古城友の会、戦国と城を学ぶ会

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇287 2021.5 A4 10p 400円

聞き書き「萩窪の昔」(5) 加茂百子さんの話／橋本照彦さんの話／

横田英夫さんの話(横田医院)／大谷妙子さんの話(飯沼金太郎氏長

女)／福田仁さんの話(田中青坪氏長女)

新倉 毅

活動報告・杉並郷土史会 春のウォーキング2021

桜いっぱい万葉歌碑を見に行こう

ガイド・伊東勝／文・前田正治

甲州街道と「花磯さんの体験」(上)―高井戸宿から記憶画まで

波 巖

杉下茂氏近況と杉並

波 巖

◆戦国史研究 戦国史研究会(発売:吉川弘文館)

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇81 2021.2 A5 54p 682円

『大和田重清日記』に見る佐竹「御東御一家中」の構成

安達 和人

宇都宮氏改易の理由

津野 倫明

九条家旧蔵本『革暦類』紙背の浦上則宗書状

岩本 潤一

赤沢朝経の河内下郡支配

馬部 隆弘

伊達氏「塵芥集」の詠物

遠藤ゆり子

松永久秀の甥・左馬進の出自

嶋中 佳輝

酒井忠次と大須賀一徳斎

酒入 陽子

高山右近の後半生

大西 泰正

戦国史関係論文目録(令和2年1月～6月)

例会記録 第484回例会以降 新型コロナウイルスの感染症拡大防止
のため開催延期

事務局

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146
<http://daidogei.info>

◇353 2021.4 A4 2p 100円

ヨゲンノトリ(予言の鳥)つづき

『熙代勝覧』が載せる生業 板舟の上で商売する仲卸／大工／仕入人
と振り売り／初鰹? 売り

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊
<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇145 2021.5 B5 8p

研究ノート 現・西武鉄道の誕生

北村 拓

新刊紹介

高木まどか著『近世の遊郭と客—遊女評判記にみる作法と慣習』 梶原 勝
地域史情報室 八王子市／立川市／府中市／小金井市／小平市／狛江
市／清瀬市／羽村市

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
<http://www.tamashin.or.jp>

◇182 2021.5 A5 100円

《特集 コロナ禍に向きあう博物館》

コロナ禍に可能な博物館活動を求めて—府中市郷土の森博物館の場合

佐藤 智敬

福生市郷土資料室における新型コロナウイルス関連資料の収集と展示

青海 伸一

植物観察会での「ゆるやかな」ウェブの活用—パルテノン多摩の事例

仙仁 径

深大寺の文化財活用—元三大師像を中心に

菱沼 沙織

東京農工大学科学博物館における展示と資料のデジタル化公開

齊藤有里加

洋風建築への誘い(71) もうひとつの多磨墓地

伊藤 龍也

建物雑想記(66) 集合住宅歴史館「多摩平団地テラスハウス」

酒井 哲

古文書は語る(58)

飯能戦争と多摩郡西部の村落―市川家文書「市川家日記」より 馬場 憲一
多摩の金融史(16) 昭和初期の第三十六銀行 早川 大介

多摩の歴史を立体視!―赤色立体地図の風景(9) 赤色立体地図で見
る府中浅間山―浮き出てきた戦跡と都市化に伴う地形改変の姿 青谷 知己
本の紹介

下保谷の自然と文化を記録する会編『西東京市白子川上流(大泉堀)

流域の自然と文化』 近辻 喜一

昭島市教育委員会編『追跡!まぼろしの八高線衝突事故』 増沢 航

多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会編『多摩

川中上流域上総層群調査研究プロジェクト報告書』 山崎 晴雄



*「文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことは、人々の変わらない願いである。また、文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであり、世界の平和に寄与するものである。更に、文化芸術は、それ自体が固有の意義と価値を有するとともに、それぞれの国やそれぞれの時代における国民共通のよりどころとして重要な意味を持ち、国際化が進展する中であって、自己認識の基点となり、文化的な伝統を尊重する心を育てるものである。」(「文化芸術振興基本法」前文より)

長い引用になってしまったが、この格調高い基本理念に基づいて充実されるべき、美術館、博物館、図書館が、2020年2月からの新型コロナウイルス感染の急激な拡大で、不要不急の存在であるかのごとくにみなされ、軒並みに休館、サービスの大幅縮小に追い込まれてしまった。残念なことである。それでも、読み聞かせ会などの催し物は中止しても、窓口での予約貸出などで曲がりなりにもサー

ビスを続けられる図書館に対し、展示・展覧会や体験講座など来館滞在型の活動が核となる博物館は苦境にある。この間、多摩にある博物館と文化財を公開する寺院はいかなる対応をし、乗り切っているのか、苦悩する学芸員や担当者の胸の内とともに報告される。

福生市郷土資料室では、公園などに貼られた注意喚起の掲示物の写真、手作りや政府支給のマスク、GoTo キャンペーンなどのチラシ、フェイスシールドなどの感染症対策用品などを収集を続けている。バルテノン多摩では中心的な活動である植物観察会を、高齢者にも使いやすく工夫してウェブ上で行い、多くのデメリットも抱えながらも、電子メールで丁寧な質問・回答ができるメリットも発見できたという。東京農工大学科学博物館では展示のアーカイブ化を進め、資料の活用に新たな道を開いている。通常の開館ができない中でも、博物館の使命を果たそうと、必死に取り組んでいる。この努力は次の時代に必ずや活かされていくであろう。

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091 1956年創刊

◇380 2021.4 A4 2p

熊野御師と豊島郡域の住郷の者たち

伊藤 一美

昭和史雑感 昭和天皇と将軍達(32) 東条英機(16)

鎌田 茂男

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇130 2021.3 B5 4p

三宝寺池とその周辺

土屋 正孝

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇108 2021.3 A4 6p

令和二年度新規の指定・登録文化財 丸山東遺跡出土の片口土器（指定有形文化財）／鴨下家文書（登録有形文化財）

練馬区指定文化財一覧／練馬区登録文化財一覧 有形文化財、無形文化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物
鴨下家の水車稼業

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1988年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇34 2021.3 A4 47+70p 500円

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 日吉町出土の菱形文土器 | 湯瀬 禎彦 |
| 武蔵御嶽山の中世瓦 | 深澤 靖幸 |
| 報告 「くらやみ祭」を題材とした社会科学習について | |
| 一小学校社会科第4学年実践報告 | 綾邊香代子 |
| 報告 府中市郷土の森博物館における鳥類標識調査について | 吉成 才丈 |
| 多摩川と玉川—古代地名由来考 | 小野 一之 |
| 府中宿における販売旅籠の成立と営業形態について | 竹田真依子 |
| 江戸時代後期の遠馬と府中 | 花木 知子 |
| 人生の年譜と一〇〇枚の写真—大室智夫ライフヒストリー(3) | |

大室智夫／佐藤智敬

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室

2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp>

◇19 2021.3 B5 91p

- | | |
|--------------------------------|-------|
| コロナ禍のなかで考える明治維新史 | 木村 直也 |
| 玉泉寺所蔵文書の調査・整理と大学教育 | 小泉 雅弘 |
| コロナ禍における大学教育の最前線—「歴史」授業・研究の探索 | 町田 明広 |
| 幕末期土佐藩における蒸気船導入と組織改革 | 岩村 麻里 |
| 大政奉還後における延岡藩の政治行動 | |
| 一「公議」意識と「修理」の観点を中心に | 古林 直基 |
| 書 評 | |
| 池田さなえ著『皇室財産の政治史—明治二〇年代の御料地「処分」 | |
| と宮中・府中』 | 寺尾 美保 |
| 奈良勝司著『明治維新をとらえ直す—非「国民」的アプローチから | |
| 再考する変革の姿』 | 今村 直樹 |
| 宮下和幸著『加賀藩の明治維新—新しい藩研究の視座 政治意思決 | |
| 定と「藩公議」』 | 宮間 純一 |
| 新刊紹介 | |
| 岩橋清美・吉岡孝編『幕末期の八王子千人同心と長州征討』 | 清水 裕介 |
| 岡安儀之『「公論」の創成「国民」の誕生—福地源一郎と明治ジャ | |
| ーナリズム』 | 中元 崇智 |

マシュー・オーガスティン編『明治維新を問い直すー日本とアジア

アの近現代』

石川 寛

本川幹男ほか著・福井県郷土誌懇話会編『幕末の福井藩』

藤田 英昭

藤田覚著『日本の開国と多摩一生糸・農兵・武州一揆』

篠崎 佑太

神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課

TEL046-225-2060 2010年創刊

◇24 2021.3 A4 4p

「他界」を展示する意味―企画展「再生・永遠回帰の生命」を見る 大野 一郎

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852

年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇265 2021.4 A4 28p

清閑亭にみる「伝統的」日本家屋と室礼

野村 朋弘

短歌 おふくろの部屋

田口 誠一

彦根の大久保家と「埋木舎」

荒河 純

日本画家・近藤弘明の芸術(3)

田代 勉

さよなら「マンちゃん」

平倉 正

「北条五代記」(4) 敵一人を三人して討捕事／両上杉たゝかひの事／

福島伊賀守河鱸を捕手柄の事

勝 四郎

片岡日記歩こう会 11月24日 駿東コース 会話録

松島 俊樹

中村静夫さんの思い出

松島 俊樹

片岡日記 昭和編(24) 昭和5年11月

片岡永左衛門

インボーデン少佐が寄稿した二宮尊徳に関わる論文とは

鳥居泰一郎・記

◆鎌倉 鎌倉文化研究会

〒248-0016鎌倉市長谷3-11-2 観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100

1959年創刊

◇130 2021.4 A5 143p 2000円

播磨国淡河荘領主北条時俊と叡尊

細川 涼一

本尊造頭一三〇〇年記念「鎌倉長谷寺」特集

「鎌倉長谷寺」特集号に寄せて

竹石 元美

仏師加賀について	三山 進
長谷大観音胎内銘札記	洪江 二郎
長谷寺観音信仰と中世律宗一金沢・海岸尼寺、厚木・飯山寺、鎌倉 ・長谷寺、尾道・浄土寺、奈良・西大寺をめぐって	瀬谷 貴之
延宝五年長谷観音再興の謎をめぐって一法誉弁秋と証誉雲臥	猪野 寿子
長谷寺の寺宝目録	三浦 勝男
『相州鎌倉海光山長谷寺事実』	鎌倉古文書研究会
長谷寺蔵『頂上仏縁起』	工藤 直子
『相州鎌倉長谷観音大士記』	猪野 寿子
『相州鎌倉長谷観音大士記』一読み下し並び意識抄	三浦 浩樹
『鎌倉』掲載 鎌倉長谷寺関係論文・資料一覧	鎌倉古文書研究会
神奈川の窓(48)―「地方史研究」から	井上 隆男
『鎌倉』総目次(自 第百一号～至 第百三十号)	

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26
2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇83 2021.4 A4 2p

女手ひとりで力強く生きる	渡邊 公子
シリーズ：私たちの「戦争体験」(7) 小学校の思い出の事など	前田 セツ

◇84 2021.5 A4 2p

『遠野物語』と『横浜貿易新報』を並べて	曾原 糸子
シリーズ：私たちの「戦争体験」(8) 「さまよう心」(79号から続く)	山根 信子
新鎌倉市議会議員決まる	(石崎)

◇85 2021.6 A4 2p

「男女雇用機会均等法」以前は	西 弘子
シリーズ：私たちの「戦争体験」(9) 「救われた命」	山根 信子
議会事務局議事調査担当から通知届く(5/18)	(横松)

◆郷土誌 葉山 葉山郷土史研究会

〒240-0112三浦郡葉山町堀内1874 葉山市立図書館内 葉山まちづくり協会
TEL046-876-0421 2004年創刊

◇15 2021.4 B5 112p 1000円

《『葉山町の歴史とくらし』拾遺その5―「葉山郷土史研究会」発足20周年記念号》	
巻頭言	濱岡 辰紀
『葉山町の歴史とくらし』概要―2015年まちづくり展展示内容をもとに	

	鈴木雅子・編
国登録有形文化財(建造物) 旧金子堅太郎葉山別邸 恩賜松荘と米寿荘	
	山口 正憲
祝新葉山御用邸落成記念スタンプ帳の記憶	文・矢嶋信幸／編集部・編
寄贈アルバムから一戦後の葉山を盛り上げた森戸海岸の龍宮まつり	
アルバム提供：本多有紀子・佐久間浩	鈴木雅子・編
付記1 龍宮まつりの思い出	宮地 公子
付記2 海辺のボーイズライフ	佐久間 浩
回 想	
20年	吉田 耕一
黒田先生の思い出	濱岡 辰紀
特別寄稿 『郷土史葉山』の多様性—20周年に寄せて	辻井 善彌
『郷土史葉山』の編集～販売～表彰	矢嶋 道文
楽遊倶楽部の活動記録	鶴 泰
葉山郷土史研究会の思い出	柳田 純
会創立10周年記念行事「会歌」	池田 京子
特別寄稿 伝統を考える—ある講演から	樋口 政則
幕末期葉山にも廻っていた浪士手配書—町保有古文書から	藤波勝次郎
葉山町の濁酒醸造—町保有古文書から	長尾 五郎
木古庭不動尊盗難騒ぎ	
『葉山町史料』及び石井悦五郎「伝承百話」より	今井 俊夫
崖地・地名の風景—私の地名散策(3)	松元 岑生
葉山の山の話(地図の表記について)	鈴木 雅子
20周年記念事業—総索引 『郷土史葉山』創刊号～14号までの総タイ	
トルと著者名および『古文書部会報告書』第一集から第九集のご紹	
介	鈴木 雅子

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇40 2021.3 A4 12p

一九六三・六四年、横浜市オリンピック事務局文書について	百瀬 敏夫
空襲体験記と日記	羽田 博昭
木村坦乎と私立鄰徳小学校	金 耿晃
閲覧史料紹介 『故木村坦乎先生を偲びて』	金 耿晃

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041平塚市浅間町12-41 TEL0463-33-5111 1977年創刊

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>

◇44 2021.3 A4 112p

2020年の流星分科会の活動報告

藤井大地／天体観察会流星分科会

2020年の流星観測と月面衝突閃光観測

藤井 大地

2020年の太陽黒点

鷹宏道／塩田和生／岡澤智

学校教員を対象とした学習投影に関するアンケート調査の報告

石井菜摘／増田健

平塚海岸の海浜植物の分布(2020年)

松本典子／恒田礼子／三輪徳子／佐々木あや子

大住郡と「にしとみ」—考古学的知見から

若林 勝司

米軍のコロネット作戦に対する第53群の本土防衛

—相模湾正面の対上陸防衛

市原 誠

小正月の火祭りにおける道祖神の再生と復活

浜野 達也

神奈川県中郡における「スペイン風邪」の流行

早田 旅人

◆逗子吾妻鏡研究

〒249-0008逗子市小坪4-12-11 伊藤一美方 年3000円 1990年創刊

◇40 2020.6 B5 6p

吾妻鏡を読むために(31)『吾妻鏡』文久2年12月24日条

「上総国追補・狼藉」と「公文・名主の訴え」について

伊藤 一美

古文書紹介(2) 6 文禄5年(1596)12月28日新村エモン太郎ほか借米

状／7 寛永2年(1625)霜月16日 頼乗申状／8 文禄5年(1596)1

月24日 兵衛太郎ほか山地売券／9 文禄5年(1596)6月29日与次・

鶴千代ほか屋敷売券

伊藤 一美

ことばの海(2) 自然「しぜん」、自然「じねん」、参差「しんし」、揚

焉「けちえん」、尻付「しづけ」

◇41 2020.9 B5 12p

吾妻鏡を読むために(32)「文治六年日次記」記者と鎌倉初期の動き 伊藤 一美

吾妻鏡のまど「三つ子」の誕生とその対応

伊藤 一美

中世人の手紙を読む(3) 源頼朝の書状写し

伊藤 一美

古文書紹介(3) 10 明暦2年(1656)丙申12月19日売渡申新券文之事

／11 寛文8年(1668)極月15日申ノ御年貢ニ借用申銀子之事

ことばの海(3) 阿党「あとう」、悪僧「あくそう」、拳銭「あげせん」

◇42 2021.3 B5 8p

吾妻鏡を読むために(33) 南山参詣の諸相について	伊藤 一美
吾妻鏡のまど「氷室」と主水司 『鏡』文治2年3月4日条をめぐって	伊藤 一美
中世人の手紙を読む(3) ある尼の消息	伊藤 一美
◇43 2021.4 B5 4p	
吾妻鏡を読むために(34) ある尼の好相日記と参籠	伊藤 一美
逗子市の中世情報(1)	伊藤 一美
◇44 2021.5 B5 8p	
吾妻鏡を読むために(35) 鎌倉御家人・八田知家の一考察	伊藤 一美
情報紹介 鎌倉期の若宮大路周辺の植生と寄生虫	(K・I)
中世人の手紙を読む(4)	伊藤 一美

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇173 2021.4 A5 64p 2000円

表紙の写真 鹿屋市含粒寺の石造仁王像 鹿児島県鹿屋市 写真と文・高野幸司
 会長退任のごあいさつ／追悼 石上善應先生 坂口 和子
 新会長就任のごあいさつ 大野 邦弘
 特 集

仁王 石造仁王像 高野 幸司
 疫病 佐倉の疱瘡神塔 岡野 哲
 疫病 佐賀県多久市の「疫病神」 藤井 伸幸
 石仏論考 山形県の「烏八臼」墓碑様相―内陸からの報告 加藤 和徳
 本邦石造物研究の歴史Ⅰ 石造物の黎明と近世の研究者 嘉津山 清
 石彫の現場から 法道仙人立像の製作―観音寺開創千三百年記念事業 長岡 和慶

あ・ら・か・る・と一私の石仏案内

立石観音磨崖仏 佐賀県唐津市相知町 中野 高通
 誌上講座 石仏入門(27)「日本石仏図典」補足・Ⅰ 門間 勇
 会員の広場

川崎市麻生区王禅寺 清水 亨桐
 八百比丘尼石像 殿南 直也
 ししこま様（長崎県長崎市鳴滝） 中野 高通

第128回石仏見学会報告 さいたま市(南区・桜区)の石仏

案内者：多田治昭氏
 日本石仏協会主催「石仏写真展2021」報告 中森 勝之

◆**扣之帳** 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

2003年創刊 <http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite1>

◇71 2021.3 A5 132p 500円

小田原・文学の小箱(1)ー私のコレクションから	中河与一の遺墨	杉山 博久
小説一幕末銀板写真倶楽部	ポトゲラヒ(4)	荒河 純
酒匂だより 「季節の野菜」から		町田紀美子
私に連なる命たち		加藤 三朗
下総国芳賀郡東郷陣屋時代の金次郎		尾上 武
六回の引っ越しの話		下田 勝也
諸々の思い出(1)		田中 豊
関東十八檀林記(14) 鴻巣勝願寺と館林善導寺		青木 良一
一升石(1)		芳賀喜久雄
失われた日本人(6) 元政上人(上)		茂木 光春

◆**民具マンスリー** 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇637 (54-1) 2021.4 A5 24p 350円

シイラ漬漁の大絵図ーモノなき漁法へのアプローチ	山本 志乃
松本市立博物館の歴史と収蔵民具ー重要有形民俗文化財を中心に	武井 成実

◇638 (54-2) 2021.5 A5 24p 350円

子供の誕生にともなう絵馬奉納習俗ー奈良県における分布と特徴(上)	浅井 裕登
貴州省黔东南ミャオ族の蠟染と藍染の様相	龍 瑞 月

◆**悠 久** 鶴岡八幡宮悠久事務局

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇162 2021.4 A5 124p 680円

《特集 近世地誌Ⅰー近世地誌とは何か》

口絵 『新編相模国風土記稿』に描かれた寺社

エッセイ 箱根駅伝に憧れ育てられ、そして今を生きる	前田 康弘
近世地誌の歴史ー古風土記・中国地誌・「日本型地誌」から考える	白井 哲哉
近世の名所記・名所図絵ー江戸の発展と繁栄を文字と絵に記す	鈴木 章生
近世の村方・町方の地誌	工藤 航平
近世都市江戸の成熟と地誌類の刊行	滝口 正哉

近世地誌に記された芸能—東北・北陸の事例から
 地誌の周辺—採集記と案内記
 川上 真理
 平野 恵
 口絵解説 『新編相模国風土記稿』に描かれた寺社
 八幡宮紹介 山中八幡宮（島根県江津市桜江町）
 新刊紹介 『ニッポン神様ごはん』吉野りり花著／『歴史を変えた挑
 戦—國學院大學陸上競技部で僕が実践した非エリートで強いチーム
 をつくる方法』

◆游酔庵文庫紀要 游酔庵文庫伊藤文化研究所

〒249-0008逗子市小坪4-12-11 2020年創刊

◇1 2020.12 A4 46p

游酔庵文庫所蔵 奈良県吉野町「新子村関係文書」の紹介 伊藤 一美
 奈良県吉野町「新子村関係文書」目録
 文書翻刻 凡例／新子村関係文書 翻刻
 吉野郡関係地名索引／人名索引

新潟県

◆郷土史燕 燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会

〒959-1262燕市水道町1-3-28 燕市教育委員会社会教育課文化振興係

TEL0256-63-7002 2008年創刊

◇14 2021.3 A5 149円

『郷土史燕 第14号』発刊に寄せて	大江 登
長岡藩「慶安検地帳」の一筆の面積の矛盾	亀井 功
寺泊本間氏の系譜	竹内 登
こうちゃんの古文書「ななめ読み」	
—長岡藩の「根限(所根源)」政策とその仕組	亀井 功
良寛逸話考	本間 明
良寛研究家 関克巳について	本間 明
燕市の遺跡巡り(2) 有馬崎遺跡—燕市最古の遺跡	本間 敏則
史料紹介 村上藩発行の「通行手形」—播磨姫路への女の一人旅	平澤 陽一
史料紹介 恐ろしい「流行病」—江戸期の一、二の史料	西海土寿郎
表紙の写真について 下粟生津生業図絵馬 燕市指定民俗文化財	

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会

〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15 伊藤善允方 TEL025-266-3076

年4000円 1963年創刊

◇61 2021.3 A5 88p

表紙 「群鶴図屏風」(五十嵐俊明筆)

江戸時代の住民登録—五十嵐浜村を例に

本田 雄二

明治十二年西蒲智和宇のコレラ騒動

—「伊藤家諸日記帳」に見る先人からのメッセージ

伊藤 雅一

蘇民将来符と茅の輪くぐり—新潟市域の事例を中心に

高橋邦比古

戦後の昭和・平成を駆け抜けて—会社勤務47年間の思い出

石附 七司

新型コロナウイルスの感染拡大と新潟県郷土史研究会

菅瀬 亮司

小特集「昭和・平成—私の思い出(2)」

万代島から見た烏賊釣り船の出港風景

青木 道

大東亜戦争 終戦時の思い出

池田 富春

蘇る新潟地震のあの日

石塚 端夫

父母との思い出

佐藤千恵子

地域に残された古文書の整理作業

中村 義隆

令和二年度受贈図書紹介

資料紹介

伊藤家『諸日記帳』(8)

伊藤 雅一

西区赤塚の中原家文書の整理と目録作成(第一集)

菅瀬 亮司

富 山 県

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇63 2021.4 A4 6p

井口神社の石造本殿

滝本やすし

飛天が彫られた石仏

松井 兵英

旧大山町上馬ノ瀬キダキの金毘羅石像

平井 一雄

斎藤善夫氏著作目録

尾田武雄作成

石 川 県

◆加南地方史研究 加南地方史研究会

〒923-0903小松市丸の内公園町 小松市立博物館内 TEL0761-22-0714

1955年創刊 <http://kananchihoushi.com>

◇68 2021.3 B5 79p

街道—変容する景観と歴史的価値

小松旧記から視る近世小松町の火事について

初代小松町長 溝口期一翁の記録

私の出版本7冊 概略と感想メモ

石黒源三郎の四十二祝の献立

旗降山・三童子山、そして馬場という地名

中世加賀 安宅聖興寺について

寛永十九年「三谷喧嘩」の周辺—利常・寿福院の系図から

史料紹介の部 今江前川

報告の部 国学の地“松坂”で学ぶ

山前 圭祐

橋本 正準

岡田 孝

池端 大二

綿貫 豊昭

橋本 巖夫

室山 孝

村井奈緒子

金戸 隆幸

金戸 隆幸

長野県

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 Tel0265-22-8118 1990年創刊

<https://www.iida-museum.org>

◇31 2021.3 A4 66p

資料紹介 菱田唯蔵関連の菱田春草書簡

日夏耿之介旧蔵の印章

『心覚』にみる麻疹流行

脇坂飯田藩の検地と樽木米

小島 淳

織田 顕行

近藤 大知

前澤 健

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 Tel0265-22-6017 年5500円

◇1116 (69-5) 2021.5 A5 50p 550円

口絵 照月寺の阿弥陀如来坐像（飯田市毛賀 照月寺蔵）

江戸時代の病気と人びとの対応（下）

—雲雀沢伊藤治左衛門の日記から

歌誌『夕樺』と下伊那青年運動(6)—『夕樺』の戦後史(2)

明治時代・三遠南信の交流

桃澤茂春の正岡子規追悼歌

「思い出」の名木とその運営

「たいざ」考(4)

織田 顕行

塩澤 元広

塩澤 元広

北原 敬悟

桃澤 匡行

大原千和喜

今村 理則

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 TEL0265-73-5538 年6000円

◇771 (65-4) 2021.4 A5 40p 600円

伊那高女(現伊那弥生ヶ丘高校)の開校—第二次大戦時の教師群像(1)	山口 通之
伊那市が取り組む古い地名調査(21)	竹松 亨
片岡氏嫡流系図についての考察(4)	片桐 充昭
退職後に一人で田舎暮らしができる条件	伊藤 一幸
中央アルプス地名考(8) 前岳・中岳	吉田 保晴
古文書の窓(159) 牢舎の牢舎	三浦 孝美
「上伊那郷土研究交流」特集を拝読して	池上 正直
図説・上伊那の民俗(46)	

彼岸のハナヅクリ(伊那市東春近下殿島古寺)	三石 稔
徒然さんぽ(21) 坂戸橋 中川村	絵と文・吉田勝美

◇772 (65-5) 2021.5 A5 40p 600円

他所稼ぎ 江戸稼ぎ(1)—高遠藩村人たちの出稼ぎ事情	三浦 孝美
実践!! 半農半X(1)	上杉 勝英
伊那路の山と笠原「牧」の地名考(中)	なかむら信行
安政国役御普請(4)	

—御目論見・御見分中および御丁張・御仕立て中の諸入用	春日賢太郎
第8回井月忌の集い 井月忌俳句大会報告	北村 皆雄
文化短信 「柳田賞」受賞の目撃者	春日利比古
古文書の窓(160) 夢見の記録	小池 悟志
図説・上伊那の民俗(47) 馬頭観音の供養(飯島町七久保荒田)	三石 稔
徒然さんぽ(22) 曹洞宗金鳳寺 伊那市	絵と文・吉田勝美

◆信 濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇855 (73-4) 2021.4 A5 128p 1150円

《特集 県民のための公文書館をめざして》

巻頭言 公文書と地域資料の保存を考える	小松 芳郎
長野県における公文書・地域資料の保存と現代史の編纂	福島 正樹
「公共財」としての公文書館	

—「平時の災害」から地域資源を守る新たな砦として	村石 正行
松本市文書館の取り組み—市史編纂・文書館	小松 芳郎
会員の声	

私たち主権者の公・文書館づくりの思い	小平 千文
長野県公文書等の管理に関する条例への願い	田玉 徳明
公文書館特集によせて—アンケート結果から	会誌編集委員会
長野県内の公文書館	
長野市公文書館について	北澤 元一
小布施町文書館について	山岸 正男
「東御市文書館」の開館と開館後の状況	堀田 雄二
須坂市文書館の事業と収蔵資料について	根津 良一
市民にとっての、市職員にとっての文書館	平沢 重人
長和町文書館の紹介	勝見 譲
上田市公文書館について	土屋 信之
青木村文書館の紹介	宮下 剛男
◇856 (73-5) 2021.5 A5 82p 1150円	
奈良・平安初期の山林修行と戒行奨励政策(上)	鈴木 実
飯田藩の柿相米一七世紀半ばの「役」の変質	前澤 健
満蒙開拓青少年義勇軍はどのように送り出されたのか	
—昭和一六下伊那教育会の動きと拓務訓練感想文から	本島 和人
岩間御嶽講から御嶽神社例大祭へ	
—長野県上伊那郡飯島町岩間の事例から	伊藤 修
報告 第5回地方史講座 赤蓑騒動について	市川 包雄

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇283 2021.5 B5 12p

上金井のお天狗様	太田(細野)真理
第223回例会参加記—上田市八日堂の蘇民将来符頒布習俗	
第223回例会に参加して	市東 真一
長野県知事公舎とふすま裏張りの埋葬届	伊藤 友久
続・道祖神とサエノカミ	木下 守
葉書でつぶやくコーナー 一軒家—安曇野に来て見て驚いた(1)	倉石 忠彦

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

松本市総務部行政管理課松本市文書館

〒390-1242松本市和田1058-2 TEL026-347-0040 1991年創刊

◇31 2021.3 B5 140p

講演 公文書管理法と文書の保存	小川千代子
戸田家徒士 伊藤(軍兵衛)家の家族史	
一江戸～明治 松本藩士達と時代背景	伊藤 真
近代日本女子教育の先駆者としての鳩山春子	山本なおみ
里山辺地区の疫病対策	三村 國光
本郷小学校の才能教育	新納 道子
神田村の歴史—むら人のくらし	百瀬 和彦
伝えたい戦争体験 国民学校から海軍通信学校へ	貝瀬 平男
令和二年度松本市文書館の事業	
『松本市史研究—松本市文書館紀要—』創刊号～第三十号 索引	

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇512 2021.5 A4 6p

5月例会レジュメ 『戦後女性員史—日教組婦人部の労働権確立運動
と産休・育休の制度化過程』を刊行して 跡部 千慧
近現代史研究者への問いかけ

一古関彰一『対米従属の構造』を刊行して 小池 善之
会員著書紹介 藤野裕子著『民衆暴力—一揆・暴動・虐殺の日本近代』
清水 実
山川出版社の『歴史総合』ダイジェスト版を見てみた 川上 努

◆静岡県地域史研究会会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇236 2021.5 B5 4p

『静岡県史』別編4 人口史の紹介 森田 香司
2月例会報告要旨 入江荘における入江一族の活動について 山田 剛徳
3月例会報告要旨 戦国期の駿府—安倍川支流界隈の諸相 原田 千尋

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇179 2021.4 A4 6p

方言雑考—「静岡の俚言」「よかん」の正体(1) 一井川中野観音

堂一氷踊謡物(「駿河志料」)一峰の子どもは寒かんなあはせやりたや
 たひそへて 富山 昭
 令和2年度 第2回例会報告 歴史文化講演会「焼津かつおぶし物語
 一地域産業の伝統と革新」 大嶋 善孝
 シリーズ食(42)「カツオの押し飯」 川口 円子
 静岡の民俗語彙・方言短信
 ノッポ 報告者・川口円子
 ゆるせくなくて／フクル 報告者・外立ますみ
 新型コロナ禍における祭りを考える「コロナ禍の中、祭を伝える」
 講演会・シンポジウム 遠州常民文化談話会

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061富士市伝法66-2 富士山かぐや姫ミュージアム内
 TEL0545-35-6250 1965年創刊

◇75 2021.4 B5 104p

表紙解説 夜明けの像と富士製紙	加藤 昭夫
巻頭言(令和二年) 歴史文化を大切にしたい浜沢栄一	加藤 昭夫
加宿・宿付けの宿場研究(2)	渡邊 誠
絵図に見る江戸時代の東海道(7) 日本橋から品川宿	田辺 泰弘
日常生活の数字(8)	渡邊 照好
人柱と護所神社由来	加藤 昭夫
原田中島の天王祭	楠 昌明
富士山道の考察一水神の森から村山浅間神社	高田 國義
田子の古道の落穂拾い(2)	福澤 清
石水門と伊達文三	矢崎 巖

愛 知 県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇269 2021.3 A5 49p

「剣の宝庫 草薙館」の開館に向けて(2)	福井 款彦
熱田神宮の二十五丁橋について	野村 辰美
奉納和歌にみる熱田信仰(7)	辻村 全弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧(26)	小久保雅広

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇42 2021.3 A5 104p

中条遺跡にみる古代集落の景観

伊藤 利和

刈谷市域の筆子塚

加藤修／塚崎千歳

野田八幡宮蔵「神代小町絵巻」の来歴

鈴木 哲

地域のためにつくした久野長松先生(2)

一戦後の新しい村づくりを中心に

山田 孝

碧海郡高等学校校舎の真相

山田 基

大正五年八月名古屋国技館の「お伽講演」

一『森銑三刈谷日記』を通して

神谷磨利子

『刈谷市史』資料編所収の野田史料館「野田村文書」

鈴木 哲

市内研修会 村上忠順の文庫「千巻舎」を訪ねて

矢田 直幸

県内研修会 猿投神社と「猿投棒の手ふれあい広場」を訪ねて

長嶋 秀雄

刈谷市郷土文化研究会 令和二年度総会挨拶

稲垣 武

二〇二〇年度事業報告・二〇二一年度予定

◆説話・伝承学 説話・伝承学会

〒480-1198長久手市茨ヶ廻間1522-3 愛知県立大学日本文化学部 国語国文学

科 中根千絵研究室内 TEL0562-76-8740 <http://setsuwa-denshyou.moo.jp>

◇29 2021.3 A5 126p

公開シンポジウム「文献説話と口承文芸」司会の記

廣田 収

韓国の本解(叙事巫歌)と文献説話

一済州島のシムパン(巫覡)の「本解」と文献説話との関りから

金 賛會

文献資料と伝説一玄寶僧都を中心に

原田 信之

郷土資料と近世説話一丹波山家藩の死霊騒動をめぐる

堤 邦彦

民間説話の声と文字一声から文字へ、そして再び声へ

真下 厚

大黒天像の背丈から一異界の価値観について

山本 陽子

撫牛をめぐる言説分析一「撫でる」まじないの論理解明にむけて

茶園 直人

◆豊田市史研究

〒471-0079豊田市陣中町1-19-1 豊田市生涯活躍部文化財課市史編さん室

TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇12 2021.3 A4 140p

口絵 古文孝経（猿投神社所蔵）

沖積低地の古代集落遺跡と平安時代の洪水一千石遺跡を中心に 永井 邦仁
御料林経営と民有下戻し—現豊田市域の事例を中心として 池田さなえ
内陸都市豊田の暑さに関する気候学的解析— SDGs に基づく住み続け
られる街づくりを目指して 大和田道雄／神谷俊彦／森佳代子

豊田市の古墳時代資料調査補遺

—市塚古墳・豊田大塚古墳・荒山1号墳・梅坪遺跡 森 泰通
資料紹介

初めて確認された豊田市の「旧石器」 川合 剛

豊田市への名称変更にかんする史料 関口 哲矢

巴ヶ丘小学校設立にかかわる二・三の覚書き(2)—「21世紀を展望し、

新しい時代にふさわしい機能を備えた学校の創造」の資料紹介 水野 雅夫

猿投神社所蔵聖教典籍のアーカイブズ化

—市民に共有される宗教文化遺産の創成 阿部 泰郎

三 重 県

◆皇學館史学 皇學館大学史学会

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 皇學館大学文学部国史学科研究室

TEL0596-22-6456 1986年創刊 <http://kokushi.kogakkan-u.ac.jp>

◇36 2021.3 A5 194p

講演 徳川將軍による松平称号授与について 上野 秀治

古代における「もち」の利用 竹内 仁美

三別抄の乱における珍島 松本 雄太

史料紹介

香川志保子滞英日記 梅田 優歩

水野可壽子「昭和二十一年記 亡父を憶ふ」：長島隆二について回想
長谷川 怜

京 都 府

◆京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5491 2015年創刊

◇7 2021.3 A4 150p

第Ⅰ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府域)

京都市雲ヶ畑文書調査	長谷川巴南
夜久野末窯跡群の調査(1)	京都府立大学文学部考古学研究室
舞鶴市木船家文書・宮津市由良文書調査	長谷川巴南
『丹後縮緬』が刻む地域社会の歴史	小林 啓治
綾部市君尾山光明寺の総合調査	安部萌花／正瑞千幸
坂尾呂神社本殿(綾部市陸寄町)建造物調査	岸 泰子
宮津市由良地区文化遺産調査 由良神社建築資料	岸 泰子
八幡市後藤家文書調査	安江 範泰
橋本遊郭保存の活動と政倉莉佳所蔵資料調査	竹中友里代
古墳を地域資源化する一湯舟坂2号墳プロジェクトの挑戦	諫早 直人
丹後半島における修験場等山寺跡に関する調査報告	菱田哲郎／稲穂将士／奥谷三穂／鶴岡衛大
京丹後市久美浜町太刀宮文書等調査	山田 洋一
第Ⅱ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府外)	
土器製塩実験から古代若狭の生産塩を考える	松葉 竜司
愛媛県松野町芝家文書調査	東 昇
熊本県天草市上田家文書調査	東 昇
第Ⅲ部 市史・町史編纂事業	
京田辺市トヅカ古墳出土遺物の再検討	諫早直人／馬淵一輝
京田辺市堀切古墳群の再検討(2)	岡田大雄／上村緑
京田辺市堀切古墳群の再検討(3)	諫早直人／田口裕貴／菱田哲郎
京田辺市宮ノ口古墳群の再検討	岡田大輝／池田野々花
京田辺市刊行埋蔵文化財調査報告書の電子公開	諫早直人／陰地祐輝／吉兼千陽
京田辺市の文書調査	東 昇
京田辺市本町通り調査	京都府立大学文学部地理学研究室
京田辺市の建造物調査	岸 泰子
和束町坂尻古墳群の調査(1)	京都府立大学文学部考古学研究室
和束町二本一古墳出土の須恵器提瓶	菱田哲郎／田口裕貴
和束町福塚古墳の埋葬施設と埴輪	鈴木康大／廣瀬覚／菱田哲郎
和束町の景観調査	京都府立大学文学部地理学研究室
和束町の建造物調査	岸 泰子
第Ⅳ部 文化遺産フィールド研修報告	
広島県竹原市における文化遺産フィールド実習について	竹内祥一郎
竹原市の文化遺産一史料の翻刻	川西優帆／鈴木詩織／松岡茉陽琉
竹原市横大道8号墳出土銅鏡の再検討	諫早 直人

竹原市横大道古墳群と古代山陽道 菱田 哲郎
 安芸国都宇駅周辺の古代山陽道の比定 竹内祥一郎
 表紙写真 重要文化財・湯舟坂2号墳出土双龍環頭（栗山雅夫氏撮影、
 京丹後市教育委員会所蔵）

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下上生洲町221 キトウビル303 TEL075-
 251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇232 2021.1 B5 48p 1800円

福王雪岑の画業とその研究課題 小林 健二
 音羽山清水寺と六斎念仏—『成就院日記』にみる六斎念仏史料 川嶋 將生
 芸能史ノート 津太夫家伝来「梅模様見台」の贈り主について 森西 真弓
 芸能史の書棚 能楽研究と椿井文書—馬部隆弘著「椿井文書—日本最
 大級の偽文書—」によせて 天野 文雄
 紹介

辻浩和「古記録に見る歌謡記事」 (T・U)

「能の略式演奏の歴史と現在—新しい演出形態を高僧するために—」 (S・H)

橋本裕之「論舞考—研究史的素描を通して」 (H・N)

例会発表要旨

公家の家業(装束師)と室町将軍家—戦国期の装束師を中心とした芸

能史的考察(2020年9月例会) 湯川 敏治

戦前、台湾における能楽(2020年10月例会) 王 冬蘭

「道の曲舞」から「声聞師の舞々」へ(2020年12月例会) 山路 興造

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0883福知山市本堀1430 中村邦夫方 TEL0773-22-2737

◇803 2019.2 B5 4p

平成31年度総会報告

◇810 2019.9 B5 6p

庵我尋常小学校の児童卒業記念より 河波 司

庵我尋常小学校の変遷

神話と考古学 高橋 俊成

光秀の家臣 荒木氏 大槻 伸

◇812 2019.11 B5 6p

生野神社の手水鉢の祈願文について 荒田 直

夜久野町玉照寺の喚鐘 大槻 伸

◇813 2019.12 B5 4p

宮津藩二俣村 江戸前期の動静

佐古田廣文

八十の手習い 古文書勉強

中村 邦夫

明智秀満書状 八月二十三日

◆地名探究 京都地名研究会

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431

年3000円 2003年創刊 <http://kyotochimei.wix.com/kyotochimie/>

◇19 2021.3 A4 322p

《創立20周年記念特別号》

表表紙：西本願寺滴翠園の龍背橋／裏表紙：飛雲閣から見る滴翠園と

御影堂 金坂清則撮影（解説 金坂清則）

二十周年を迎えて

小寺 慶昭

講演 南山城の文学地名－相楽山・山吹の瀬

小西 亘

地名「桂」語源考－「葛野」由縁説を再考

糸井 通浩

令和と『万葉集』－地名が語る梅の渡来

沖村 由香

古代寺院の寺名と地名の考古学－寺号・法号・院号・山号

中島 正

宇治橋三の間と橋姫

小寺 慶昭

格助詞に着目した地名の要素分解

初宿 成彦

寺の名の付いた町名

清水 弘

大久保利通の茶室「有待庵」発見と来歴について

原田 良子

七夕伝説の天女が辿った比治里荒塩村

小牧誠一郎

玉作原石産地と「黒部」地名の関係

高口 定雄

フォトエッセー 写真の力－本欄の意図と「三題噺」

金坂 清則

『地名探究 No.18』提言「永田氏のアイヌ語地名論について」(小寺氏)

への反論

永田 良茂

京都地名研究会20年の記録

第Ⅰ部 全講演・研究発表の記録

第Ⅱ部 「地名随想」の記録（保存版）

第Ⅲ部 京都地名研究会歴代役員一覧

京都地名研究会20年の記録 索引

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇400 2021.4 B5 12p

金熊寺権現社神主矢野家の『永代記録』に見る

泉南江戸期の災害記録(1)

下村 欣司

泉南の城郭と歴史的背景—土丸・雨山城を中心として(3)

西村 歩

現代語訳「食家と佐野と海」(8)

二山 和美

史料紹介

泉州の地誌(3) 藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(3)

◇401 2021.5 B5 12p

金熊寺権現社神主矢野家の『永代記録』に見る

泉南江戸期の災害記録(2)

下村 欣司

泉南の城郭と歴史的背景—土丸・雨山城を中心として(4)

西村 歩

室町幕府中枢の動きと和泉(24) 九 信長・秀吉の登場(続)

(6) 秀吉の登場と泉南・紀北制圧(1582~85)

井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(9)

二山 和美

史料紹介 泉州の地誌(4)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(4)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇437 (38-3) 2021.3 B5 4p

巻頭言 神のおやしらのこと(59) 阿倍野神社

和久 敦也

◇438 (38-4) 2021.4 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(60) 櫻宮神社

和久 敦也

令和3年3月例会報告(第405回)

『続日本後紀』と「承和の変」 安田政彦氏

(報告・寺井)

訃報 歴史研究会会主幹 吉成勇氏を悼む

田村 紘一

ブック・インフォメーション 会誌「歴史懇談」第三十四号 好評発売中! / 特集・歴史図書案内 『木戸孝允』(幕末維新の個性8) 松尾正人、『木戸孝允と幕末・維新』—急進的集権化と「開化」の時代 1833~1877 齋藤紅葉、『木戸孝允』—「勤王の志士」の本音と建前—坂太郎、『白い歯の国をたずねて』—岩倉使節団の旅 木戸孝允のみたイギリス 宮永孝

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032河内長野市栄町21-11 棕本進方 TEL0721-52-3394 年3000円
1979年創刊

◇63 2021.4 B5 29p

巻頭言	棕本 進
A氏についての南海電気鐵道株式會社の辞令	
一昭和22年6月から昭和25年6月まで	松本弘(裕之)
和歌山県みなべ町の西国三十三度供養塔(碑)について	玉城 幸男
河内八里周遊のちらし等について(二種類の比較)	松本弘(裕之)
天野川上流部(天野谷)研究覚記(1)	棕本 進
令和二年度 事業報告	文責・棕本 進
記念事業委員会報告(令和二年度)	文責・安原幹也
河内長野市文化連盟事業報告(令和二年度)	文責・棕本 進

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円 <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇858 2021.5 A4 10p 300円

新大和川の流路―旧大和川を歩く(番外)	安村 俊史
伊勢市の旅館建築史	川島 智生

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
<http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

◇103 2021.3 A5 64p 1500円

巻頭言 巣ごもり中のおすすめ	上遠野浩一
称徳天皇の崩御と道鏡	寺西 貞弘
アンデス通信(56) 古代アンデスの儀礼土器と「移動する人々」	市木 尚利
コロナ禍と科学と古代史学(1) 前稿への補遺を中心に	尾関 章
新刊紹介 浜田久美子著『日本史を学ぶための図書館活用術 辞典・史料・データベース』	上遠野浩一
一光三尊像のルーツについての一考察(3)	
第三節 一光三尊像発生のアイデア	山下 輝幸
『日本書紀』の暦について(2) 4 神武即位辛酉革命説の検証	上遠野浩一

◆堺研究 堺市立中央図書館

〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1 堺市立中央図書館総務課図書館サービス係
TEL072-244-3833

◇43 2021.3 A5 67p 440円

表紙解説 「浜寺海水浴場記念絵葉書」明治40年

堺市立中央図書館所蔵

堺近世の産業構造と鍛冶職

吉田 豊

堺版教科書の基礎的研究(3)―土屋鳳洲の『家之基』について

和田 充弘

史料紹介 河内国丹南郡西村の新史料について

岡田 光代

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511
<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇628 2021.4 B5 24p

3月・第689回例会の報告 大和 信貴山城、高安山城、古代高安城

担当幹事：藤岡秀典・水品弘樹

報告・水品弘樹

伊予鹿島城を訪ねて

坂本 昇

私の石垣履歴書

藪西 旭

別冊 第690回例会 令和3年(2021)4月4日

近江 八幡山城・北之庄城を訪ねて 担当幹事：下岡方・藤岡秀典

◇629 2021.5 B5 28p

事務局推薦 図書紹介 『木曾伊予守義昌』一武田、織田、徳川と主
を変え、木曾谷の領知を守ろうとした木曾義昌の一代記 著者：志
村平治氏(当会会員)／『淀君の淀城でなく 徳川の淀城』著者：永
井太一郎氏(元当会会員)

4月・第690回例会の報告

近江 八幡山城・北之庄城 担当幹事：下岡方・藤岡秀典

報告・藤岡秀典

愛媛県の葛籠屑城を訪ねて

坂本 昇

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円
1988年創刊 <http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/>

◇399 2021.4 B5 12p

平城遷都に至る過程

市 大樹

「黒山遺跡・太井遺跡発掘調査」の成果を動画で公開

石塚 一郎

◇400 2021.5 B5 20p

会誌『つどい』第四〇〇号の刊行を祝す	塚口 義信
会誌『つどい』第四〇〇号の刊行にあたって	小川 滋
『日本書紀』の暦について―神武即位辛酉革命説を見直す(前編)	上遠野浩一
『つどい』の歩み	古高 邦子

兵 庫 県

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 1997年創刊 <http://www.maple.or.jp/~shimaya/>

◇29 2021.4 B5 47p

誌上ギャラリー 「侵食Ⅳ」	東影 智裕
---------------	-------

誌上インタビュー 江戸文化に学ぶ	田中 優子
------------------	-------

特集 江戸文化

読書と江戸文化	倉地 克直
---------	-------

江戸絵画と現代	安村 敏信
---------	-------

姫路藩主の文化	甲斐 史子
---------	-------

文学にみる室津の遊里	柏山 泰訓
------------	-------

江戸文化への招待	編集 部
----------	------

播磨の10人 第九回 山片蟠桃	千田 草介
-----------------	-------

博物館遊歩(29) 深川江戸資料館	柏山 泰訓
-------------------	-------

漂流地方史(3) 『伊能忠敬』(1)	三木 敏明
--------------------	-------

広告世相視 「言われなくても、やってます。」	一言居士
------------------------	------

町並み探訪(28)

大島浦～金島と詠われた新居大島の港町(愛媛県新居浜市)	八木 雅夫
-----------------------------	-------

室津ミュージアムニュース 「八朔のひなまつり」開催、特別展「日

本の住まいの歩み」開催、企画展「絵葉書から見る港町」開催／歴

史講座「室津の町並みについて」

表紙写真の説明

「鶴松図」 嶋屋(室津海駅館)二階 床脇の天袋の小襖絵	柏山 泰訓
-----------------------------	-------

◆史料ネット NEWS LETTER 歴史資料ネットワーク

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内 TEL078-803-5565
年1000円 <http://siryo-net.jp>

◇95 2021.3 A4 12p

巻頭言 これからの史料ネット活動に向けての私の思い	平田 良行
---------------------------	-------

特集 新しい資料ネットの設立

とちぎ歴史資料ネットワークの設立	高山 慶子
台風19号災害における長野の活動	原田 和彦
地域に寄り添った「群馬方式の予防ネット」を育てる	築瀬 大輔
東海歴史資料保全ネットワークの設立	堀田慎一郎
那須資料ネットの設立と今後について	作間 亮哉
日本学術会議第25期推薦会員任命拒否と歴史学会の動向について	

歴史資料ネットワーク事務局

歴史資料ネットワークにおけるオンライン形式の取り組みについて 跡部 史浩
「第7回全国史料ネット研究交流集会」が開催されました

◆西宮市立郷土資料館ニュース

〒662-0944西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298 1987年創刊

<https://www.nishi.or.jp/bunka/rekishitobunkazai/ritsukyodoshiryokan/>

◇51 2020.3 B5 8p

太閤窯製の花入と陶工・小西平内	笠井今日子
収蔵施設の機能向上について～収蔵庫防水扉設置工事	俵谷 和子

◇52 2021.03 B5 8p

日本遺産認定記念 第50回特集展示「樽廻船と西宮」	中谷真悠香
西宮ゆかりの絵師藤田瑞峯―旧西宮町宗旨人別帳の調査から	衛藤 彩子

◇53 2021.3 B5 8p

旧西宮町宗旨人別帳に貼付された色紙について	衛藤 彩子
西宮市立郷土資料館 コロナ禍の1年	笠井今日子／猪岡叶英／中谷真悠香

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇637 2021.4 B5 8p

西宮の絵師 藤田瑞峯	衛藤 彩子
宮水利用の歴史	大浦 和也
会員活動報告 「奈良県美術展覧会」& 「民俗学研究」	中村宏／山本純子

◇638 2021.5 B5 10p

会長退任の御挨拶	山下 忠男
会長就任にあたって	吉井 良昭
「西宮の城」のはなし：渡辺武先生大いに語る 西宮文化協会三月行事	

謡曲「鶉飼」の史跡めぐり	江寄健一郎
	森村 暁子

手作り甲冑展示・解説のご案内 解説：時本昭男氏
会員活動報告 『日本菊花全国大会』（和泉市・国華園）

中村宏／山本純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551
年3000円 1962年創刊

◇345 (60-2) 2021.4 A5 49p 600円

《特集 城郭画家萩原一青 波乱の人生と業績》

城郭画家・萩原一青の事績と生涯

辻川 敦

萩原一青の描く城郭の形象とデザインの特性について

堀田 浩之

萩原一青氏の評価と回顧

中井 欣

昭和四十年代、城郭研究家絵師萩原先生を回顧

富原 道晴

コラム 萩原一青が描いた近代地図

明治十八年の尼崎城址

大国 正美

大正六年の尼崎城址

大国 正美

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2014年9月26日～27日)

大国正美／有吉康德

奈 良 県

◆水平社博物館研究紀要

〒639-2244御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

◇23 2021.3 A5 50p 1000円

水平社博物館『研究紀要』第23号発刊にあたって

川口 正志

全国水平社創立宣言における「熱」と「光」の考察

駒井 忠之

全国水平社創立前後の雑誌にみる部落問題について

佐々木健太郎

◆奈良学研究 奈良学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇23 2021.3 A5 180p

大和国田原郷における惣堂の機能と寺院信仰

赤田 光男

本居宣長の奈良旅行―『菅笠日記』ではない奈良旅行日記

伊藤 純

乾谷敦子 書誌兼年譜稿ならびに覚書

一奈良に学んだ笠置の歴史児童文学作家、その生誕百年によせて

杉崎 貴央

備前における報恩大師伝承の拡大と備前四十八ヶ寺の成立	平松 典晃
大和棟の住まいと信仰—奈良県生駒市沓分町の事例	清水 智子
研究ノート 大阪府枚方市田口のカンジョウナワ行事と水利	西蓮寺 匠
資料紹介	
一九六〇年代の奈良の風景 永野鹿鳴荘ガラス乾板資料から	鷺森 浩幸
圓證寺不動明王坐像	戸花亜利州
三十六歌仙画帖	平尾小百合
書評 赤田光男著『中世都市の歳時記と宗教民俗』	高田 照世
例会・公開講座記録 2020年度公開講座	

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇52 2021.3 A5 205p

元号—存廃をめぐる攻防(2)完	井戸田博史
稲作儀礼と祈雨成就の祝祭	赤田 光男
『四天王寺秘密記』の成立年代について	伊藤 純
新潟・妙高寺愛染明王像の「伊豆国田仲」伝來說小考	杉崎 貴英
大和国靈感寺と御霊信仰	鷺森 浩幸
児島五流の霞による備前四十八ヶ寺と伊予の報恩大師伝承	
—修験の活動に見る備前と伯耆大山	戸花亜利州
史料紹介・翻刻 十八世紀中期から二〇世紀初頭の陸奥国会津郡金井	
沢村における稲の作況記録 上一室井家文書「作毛位付帳」(宝暦	
九年から寛永十二年まで)	川口 洋

和歌山県

◆熊楠研究 南方熊楠顕彰会

〒646-0035 田辺市中屋敷町36 南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909
1999年創刊 <http://www.minakata.org>

◇15 2021.3 A5 287p 3000円

南方熊楠の睡眠時間と知的生産—一五〇代日記分析を通して	雲藤 等
南方熊楠の論考「山婆の髪の毛」について	
—植物病理学者日野巖との交流	郷間 秀夫
「情報」という単語から見た南方熊楠	大和 茂之
特集1 腹稿の謎を探る 2	

虎に関する腹稿の解説(2)―A稿およびD稿について	松居 竜五
虎の腹稿の『太陽』掲載版への利用状況	志村 真幸
虎の腹稿から読み取る南方熊楠の思考方法	
―中国の類書『酒鑑類函』の影響を中心に	司 志武
「腹稿(馬について)」解説の試み	田村 義也
腹稿に残された小宇宙―柳田国男と比較して	石井 正己
特集2 熊弥さんの療養と南方熊楠	
藤白での熊弥さんの療養環境について	千本 英史
南方熊楠と岩倉	中村 治
監護義務者・南方熊楠	岸本 昌也
資料紹介	
熊楠日記 昭和三年五月十日～二十一日	熊楠関西・編
南方熊楠筆「日高・鉛山記行」	吉川壽洋・武内善信
南方熊楠書簡資料 岡村金太郎来簡(一九一一(明治四十四)年)	
	郷間秀夫・岸本昌也編
和歌山市立博物館所蔵 南方熊楠宛て未紹介柳田国男書簡三通につ	
いて	田村 義也
書 評	
伊藤慎吾『南方熊楠と日本文学』	小峯 和昭
志村真幸『南方熊楠のロンドン―国際学術雑誌と近代科学の進歩』	石井 正己
土永知子編『南方熊楠の貝類コレクション展 2019』、土永知子・	
石橋隆『南方熊楠の鉱物・化石コレクション展 2019』	吉村 太郎

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円

◇221 2021.4 B5 2p

総会は5月27日(木) 午後2時から 新宮市旧チャップマン邸／研修
講演会「熊野山略記を読む」桐村英一郎先生／『熊野山略記』を読
むを刊行 桐村英一郎先生／新宮城下町遺跡発掘調査のその後／紀
宝町北松杖の中世山城跡 荘司健会員／事務局より

島 根 県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊 <http://www.taisha-shiwa-kai.jp>

◇206 2021.3 B5 36p

出雲地域の歴史と文化シリーズ(18) 戦争体験と安来節	岩成 俊策
大社町の町内巡り(6) 馬場(上) 神門通り(参詣道)の新設	伊藤 明
大社町の町内巡り(7) 永徳寺版 永徳寺坂の今昔と地名由来	吉田 安子
大社町の町内巡り(8) 中の島 中の島町内会の今昔	禅門 貞良
中学生出雲弁川柳(令和二年度)	大社中学校

読者コーナー

ご紹介「日御碕出身の寄生虫学の大家 高橋昌造博士と橘樹」	福田 文夫
手銭記念館の四季 『刀剣展一刀剣と刀装具一』について	佐々木杏里
出雲弥生の博物館 ギャラリー展「2000年前の弥生土器―出雲型広口壺の生産」	出雲弥生の森博物館(文責・伊藤はるか)
お知らせ いづも財団公会講座の開講!	いづも財団
令和2年10月~12月 出雲市大社町年表	編集部
表紙写真 宇迦橋の改修工事始まる! 令和3年2月撮影	撮影・板垣宏

岡山県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円
2002年創刊

◇78 2021.4 A4 10p

悲運の武将・宇喜多秀家(1)	内藤 勝輔
史料紹介 前田利長の書状二点	大西 泰正
物語直家記伝 西大寺辺の城 第48回 転変(4)	山重十五郎
宇喜多秀家公潜居地・「牛根麓平野家」に岡山城の石持参贈呈	中山 良二
宇喜多秀家末裔としての宇喜多秀家顕彰活動	尾沢 理美
令和三年度 宇喜多家史談会報告	石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部
久野研究室気付・小野功裕村上岳方 TEL086-252-2482 年1500円
1986年創刊 <http://homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm>

◇153 2021.5 B5 30p

2020年12月例会「ひろたまさきさんの人と学問」

開催のあいさつ ひろたまさきさんと岡山県地方史研究会	定兼 学
----------------------------	------

倉地	克直
妻鹿	淳子
小畑	隆資
森元	辰昭
北村	章
光田	京子
前田	昌義
山下	洋
松岡	弘之
青木	充子
松田	琢磨
室山	京子

[illegible]

*2020年6月17日に85歳で亡くなった廣田昌希氏の追悼号で、同年12月19日に「ひろた まさき さんの人と学問」と題して開催された岡山地方史研究会の例会の様相を収録する。

廣田氏は、1934年の生まれで、京都大学を卒業し、1970年に北海道教育大学から岡山大学に転じ、助教授、教授として、1988年に大阪大学に移るまでの35歳から53歳までの18年間を岡山で過ごした。この間、岡山県総合文化センター郷土資料室の長光徳和氏を中心とする百姓一揆史料勉強会に参加した。長光氏没後一周忌の1979年3月には岡山地方史研究会の創設に参画し、手書きで会報を発行した。その創刊号で、「開かれた研究会」を目指すとし、閉ざされたアカデミズムではなく、市民に開かれた歴史研究であることを訴えた。廣田氏の生涯を貫く研究姿勢であった。さらに、岡山民権運動百年記念行事実行委員会事務局、岡山女性史研究会、岡山県史や芳井町史の編纂、倉地克直との共編著『岡山県教育史』（思

文閣出版 1988)など、幅広く活躍した。

倉地氏の「ひろたまさきさんと岡山」によれば、廣田氏の研究の出発点は福沢諭吉研究で、岡山時代にまとめた『福沢諭吉研究』(東京大学出版会 1976)は、「民衆」を切り捨てて「早熟な帝国主義」に「転向」する福沢を論じ、生涯で最も良い仕事であったと述べたという。

また、光田京子氏は「ひろたまさき先生と女性史」で、戦後の新制中学で初々しい男女平等意識を身につけた廣田氏は、京大研究室時代の「どす黒い家父長的な意識」を嫌い、岡山大学では、反家父長的な感性で女性たちに呼び掛けて、岡山女性史研究会を立ち上げ、毎月の例会で熱心に指導し、岡山を離れた後も、研究会から『岡山の女生と暮らし「戦後」の歩み』『同「戦前・戦中」の歩み』(山陽新聞社 1993-2000)が刊行されるなど、廣田氏が「岡山でまいた女性史の種は、ゆたかな実をむすんだのです」と記している。

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 Tel086-233-2505 1982年創刊

◇40 2021.3 A5 192p

真庭市の自然と文化

さとやま資源の利活用ーバイオマスと草原に着目して	増井 太樹
蒜山ー自然と人・文化の関係史	前原 茂雄
岡山の土木遺産ー地域資源としての保存と活用	樋口 輝久
岡山市域の古典籍をめぐるー一正宗敦夫から池田光政・綱政へ	原 豊二

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 Tel086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇161 2021.3 A5 14p

R S K イノベティブ・メディアセンター オープン	桑田 茂
先輩の恋	江口ちかる
岡山の人物 中島重	八木橋康広
岡山の自然 日指名神社のヤマフジ	首藤ゆきえ
岡山の文化財 作州民芸館(旧土居銀行津山支店)	乾 康二
わが町・わが村の自慢 総社市雪舟生誕地公園(総社市)	
ふるさとの思い出 岡山城と県立岡山中学校(岡山市北区)	
会員だより 岡山後樂園と私	星尾 幹枝

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課

〒710-1398倉敷市真備町箭田1141-1 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151

1991年創刊 <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm>

◇31 2021.3 A5 154p

特集一玉島乙島守屋家文書

特集にあたって

近世初期備中国浅口郡乙島村の石場と水谷勝隆の地域開発 畑 和良

備中成羽藩・松山藩水谷勝隆支配時代の法度

一浅口郡乙島村守屋家文書にみる 山本 太郎

寛保・延享期乙島村の庄屋継嗣問題と村落 定兼 学

乙島村氏宮に関する諸記録と「本願主」守屋家

一守屋重左衛門の東叡山出訴をめぐって 別府 信吾

乙島村出身の古筆家・守屋弦啓の生涯

一明日は如何なることやら知れぬ 大島 千鶴

乙島新田の開発と流作場 古市 志織

湛井十二か郷用水(西一郷半用水)の開削

一倉敷市上東中嶋遺跡の発掘調査成果をもとに 上村 武

嘉永三年東高梁川洪水と岡山藩領児島郡村々

倉地 克直

資料群紹介 帯江村役場の公文書について

山下 洋

下道朝臣黒麻呂の隠岐国赴任について

松尾 洋平

琴浦町役場の建築について

山崎真由美

報 告

令和元年度歴史資料講座「倉敷市における被災公文書救出と修復

の取り組みについて」山本太郎、「近世～近代初頭の水害と高梁

川西岸流域」畑和良、「明治13年の高梁川水害について」山下洋、

「西日本豪雨と被災歴史資料の救出・保全」上村和史

玉島乙島守屋家文書調査報告会 2

水損公文書の修復処置

文責・山本太郎

新刊紹介 間壁忠彦・間壁霞子『奈良時代・吉備中之囀の母夫人と富

ひめ』／『林源十郎商店物語』／『高梁川東西用水組合100周年記念誌』

コラム 物語る石造物

(在間)

広島県

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇95 2021.3 A5 60p 700円

2020年コロナ禍で

岡崎 環

備後の金毘羅信仰と常夜燈

—御調町内の金比羅から往時の暮らしを考える

小説『肉の砂漠から』からたどる広島県の先人たち

—田中保太郎・永井建子・森下博

松崎 哲

第94回研究会追記 広島赤とくらし〜沼隈町の平家谷伝説

正木真理子

重要文化財 備後一宮 吉備津神社 本殿 建造物保存修理事業

経過報告

尾多賀晴悟

江戸時代後期、備後の村方での図書事情

—山名家文書「本改並に貸方控帳」(天保14年癸卯6月)を中心に

山名 年浩

みはら民俗学の創始者 鯨本刀良意と広島民俗学会

正木真理子

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇362 2021.5 B5 12p

興安丸を讀えて

桧山 幸三

日本の牛と馬、交通の歴史(12) 第3章 江戸時代を見る眼

三好 邦範

三原でも石炭が採れた?(下)

西村 雅幸

三原市のカワウ対策 第2報(前期)(1)―平成24年〜平成29年の取組

行長 啓三

徳 島 県

◆徳島県立博物館研究報告

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1991年創刊 <https://museum.tokushima-ec.ed.jp>

◇31 2021.3 A4 101p

鳴門海峡海底からスイギュウ化石の発見

近藤洋一／中尾賢一

愛媛県宇和海沿岸より得られたフグ目魚類4種の記録

清水 孝昭

愛媛県瀬戸内海域から得られた魚類8種の記録

清水 孝昭

調査報告 アサギマダラの移動に関する徳島県の記録(2020年)

大原賢二／山田量崇

短 報

徳島県那賀川水系から得られたイワナとアマゴの交雑個体 井藤大樹／古川学

徳島県から得られたオチヨコナガミズハゼ(スズキ目：ハゼ科)

奥村大輝／井藤大樹／平石成伸

徳島県立博物館所蔵標本からみた徳島県におけるシマヒレヨシノボ

りの分布

国松翔太／井藤大樹

徳島県阿南市におけるナガエツルノゲイトウ(ヒユ科)の新産地

小川誠／大原賢二

アズマモグラと同定されていた徳島県産モグラ標本の検討

谷岡 仁

資料紹介 徳島県阿南市若杉山遺跡出土石器類

植地岳彦／岡本治代

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 Tel088-668-3636

1990年創刊 <https://www.museum.tokushima-ec.ed.jp>

◇122 2021.3 A4 8p

恐竜化石にタッチ!! 特別陳列「徳島まるづかみ展—コミュニケーションで展示を楽しもう!」

茨木 靖

Culture Club 徳島県の恐竜化石の発見史(1993年～2020年)

辻野 泰之

令和3年度 特別陳列「徳島まるづかみ展—コミュニケーションで展示を楽しもう!」

収蔵品紹介 守川保忠「四国旅日記」—徳島藩士の四国遍路

松永 友和

情報BOX 古墳の被葬者は女性?男性?

岡本 治代

レファレンスQ&A 花の色の紙を作れるって本当ですか?

小川 誠

愛媛県

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇149 2021.3 A4 24p

宇摩の巨石墳—特に向山古墳1号石室を中心に

眞鍋 修身

北条の古墳(9) 奥の谷古墳

正岡 睦夫

伊予の近世石工(3) 愛媛県有石工銘石造物一覧(第3版)

十亀 幸雄

◇150 2021.4 A4 28p

北条の古墳(10) 北条平野周辺の箱式石棺

正岡 睦夫

愛媛県の漢式鏡(20) 松山市若草町出土の重圈日光鏡について

名本二六雄

考古学の隣り 愛媛県砥部町旧広田村の鬼の金剛—総津久保組例を中

心について

太田由美子／十亀幸雄

『いせきニュースレター』目次 第115号～第150号

◇151 2021.5 A4 20p

北条の古墳(11) 松山市大浦ふわりの里付近の箱式石棺 河原茂／正岡睦夫
愛媛県の漢式鏡(21) 小松・大日裏山1号墳出土小型内行花文鏡 名本二六雄
江戸・明治期砥部陶磁窯址(2) 砥部町七折唐津山窯址(上) 十亀 幸雄

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇401 2021.4 A5 51p 750円

信長政権期の伊予一岡本城合戦に関する一考察 桑名 洋一
難破船軍図を読み解く―描かれた第一次木津川口合戦と軍記物語 大上 幹広
伊予史談会の史料 伊予史談会文庫架蔵 影写本目録Ⅱ―中世から近
世初頭中心の個別文書群 山内 治朋

新刊紹介 愛媛大学・松山大学「えひめの価値共創プロジェクト」編

『大学的愛媛ガイド』、宇和島市立伊達博物館編集・発行『山家清兵衛 伊達と和霊様』、鬼北町教育委員会編集・発行『奈良山等妙寺の至宝と国史跡等妙寺旧境内展』、愛媛県歴史文化博物館編『明石寺と四国遍路』

編集部

郷土その日その日 自令和2年11月至令和3年1月

編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1263回 松山藩御用絵師について 長井健氏、小林信近
の生涯と業績 片上雅仁氏／第1264回 戦国伊予三城 能島城・湯
築城・河後森城連携事業の取り組みについて 神石郁氏、大洲八幡
神社の「お成り」―祭礼調査からわかった歴史的価値 白石尚寛氏

長 崎 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇225 2021.3 B5 20p

重要文化財(市指定) 湊八坂神社の肥前狛犬 志佐 惲彦
唐津地方の歴史道 太閤道(1)上 馬場 良平
三宅藤兵衛と唐津寺沢氏 寺沢 光世
唐津・発掘・発見の話(13)

相知村梶山の石棺発見と唐津の忠魂碑等について若干
名古屋文書について

徳富 則久

山田 洋

古文書紹介 『諸岡文書』K004「村方取締仕法」

濱口 尚美

「諸岡文書」(九州大学所蔵) その1・その2

末盧國をめぐる古代史—末盧國以前(2)

—稲作の伝播と菜畑遺跡の発見(下)

田島 龍太

鹿 児 島 県

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会

〒895-0011川内市天辰町2365 鹿児島純心女子大学附属博物館内

年2500円 1980年創刊

◇32 2020.9 B5 80p

表紙解説 鹿児島県指定史跡「清水磨崖仏」の三大月輪梵字

撮影と解説 井上賢一

口絵 川辺町の共同井戸

撮影・作図 米原正晃

序文—南九州市川辺地区の民具調査を実施して

森田 清美

川辺特集

民具学から見る飯倉神社御田植祭り、他

下野 敏見

共同井戸のつぶやき—川辺町の共同井戸をもとに

米原 正晃

川辺二日市について

立藺 充

大浦大木場集落山神祭りの大草履を作る稲藁の話

熊 華磊

南九州の調査—ミュージアム知覧の資料調査と地域での聞きとり

牧島 知子

神殿田代「隠れ金山」の民俗信仰

—南九州川辺町神殿田代金山の女郎墓や慰霊碑を中心として

森田 清美

帖佐呟について

下嶋 弘

蘭牟田から蒲生への古道

江口 秀丸

大隅地方の十五夜お月さんの綱

近藤津代志

「川辺地区の民具共同調査」調査位置図／「川辺地区の民具共同調査」

実施概要

平山太鼓踊り

井上 賢一

川辺二日市見て歩記

森田 清美

川辺町神殿にある福元家の米蔵

有村 澄子

◆徳之島町 町誌編さんだより 徳之島町誌編纂室

〒891-7101大島郡徳之島町亀津2918 徳之島町生涯学習センター3階

徳之島町郷土資料館内 TEL0997-82-2908 2018年創刊

◇12 2021.2 A4 2p

はやり病—繰り返された「病との闘い」に思う

米田 博久

◇13 2021.5 A4 2p

新町誌の発刊を前に一郷土につながる全ての方々の家の宝に

節(しち)や水車(みいじくるま) 月(ちきい)や走馬(はりま)

町田 進

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇244 2021.5 B5 8p

五月定例会レジュメ

宮古諸島における自然災害一津波災害を中心として

久貝 弥嗣

六月定例会レジュメ 平和展「特攻艇と宮古」展示解説

解説・與那覇史香

上比屋山を訪ねる～三月定例会を終えて

下地 和宏

第四六回定期総会

事務局

論文紹介 忠導氏と長栄氏の関連をめぐる諸問題

一仲宗根豊見親と長田大主を主軸として

下地 和宏

『宮古島市総合博物館 紀要』第二十五号の紹介

與那覇史香

予告 『宮古研究』第十四号 刊行

綾道『四島・西辺コース』発行

久貝 春陽

大城弘明 フォト・アイ「島尻の秘祭 ウヤガン」

仲宗根將二

◆宮古島市総合博物館紀要

〒906-0011宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567

◇25 2021.3 B5 380p

宮古・池間島のカツオ産業文化誌(3)

一ぎょしょく「魚飾」からみた島の村落組織と人間関係 若林良和／川上哲也
ひらら祭祀の類型化の試み

一『宮古島市史』第二巻 祭祀編(上)(中)による

長濱 幸男

「ひらら祭祀の類型化の試み」に関する資料

長濱 幸男

人々と生き物

川上 勲

琉球列島におけるヨタカの生物文化

一多良間島・粟国島・喜界島

久貝勝盛／伊地知告

ネフスキーの論文「天の蛇としての虹の観念」を読む

宮川 耕次

多良間町におけるツバメの方言名、ヤウカニス・ヨーカニスの由来

渡久山 章

倭寇と宮古について考える

一『琉球諸島における倭寇史跡の研究』に学ぶ

下地 和宏

宮古島市城辺方言の音韻の研究

旧城辺町史のための調査資料を中心に
琉球国後期(近世)先島の頭懸(人頭税)と貢納物一王府・蔵元財政史料

からみた年貢(穀)と定納布および産物等の貢納

宮古諸島産昆虫目録への追加種

宮古諸島産昆虫に関する文献目録

宮古島市友利元島遺跡出土のジュゴン骨製品

宮古諸島新記録のイリオモテシャミセンヅル

Lygodium microphyllum (Cav.) R.Br.

来間島のスギヤとンドゥイギーの復元模型製作の記録 與那覇史香／砂川奈美子
紙芝居政策からみえた「平良市の三大事業」Ⅰ

一宮古における電気・港湾のあゆみ

宮古島の忠導氏正統仲宗根家と多良間島塩川の忠導氏支流富盛家の位

牌から見える八世狩俣首里大屋子玄易と宮古での室、多良間島での
妻について

戦後宮古の軌跡(概要)一文化活動・民衆運動を中心に

第一部 文化活動

第二部 民衆運動

第三部 軌跡

史料紹介と解説・染地氏家譜支流(系祖二世実元)

「衡平氏家譜」補遺一伊良部島における家譜・士族成立の背景・来歴

寄贈図書紹介

◆信仰の灯は永遠に 日本福音ルーテル池田教会と吉田康登牧師の足跡

浦幌町立博物館企画展図録

日本福音ルーテル帯広教会記念誌編集委員会編・刊(〒080-0023 北海道帯広市
西13条南13丁目1-42 日本福音ルーテル帯広教会内 Tel.0155-25-3665) 2021年4月
A4 80頁

浦幌町立博物館2019年度企画展(2019年11月23日～2020年1月19日)の展示図録に
併せて企画された、日本福音ルーテル池田教会の廃止を機とした教会の歩みを記
録した記念誌。ごあいさつ(岡田薫)／ごあいさつ(高橋慎)／はじめに いま、な
ぜ教会の展示なのか?(持田誠)／口絵 日本福音ルーテル池田教会、池田礼拝堂
感謝礼拝(2019年6月30日)、池田教会最終礼拝(2019年8月25日)、日本福音ルー
テル釧路教会、釧路礼拝堂感謝礼拝(2018(平成30)年9月22日)、釧路教会最終礼拝
(2018(平成30)年11月24日)／第Ⅰ部 池田教会の歴史と吉田康登牧師(北海道・

十勝地方とキリスト教、浦幌とキリスト教、吉田康登牧師、浦幌で信仰の種をまく、池田教会の誕生、道東のルーテル教会、忘れられる教会の記憶／第Ⅱ部 池田教会の思い出 父吉田康登牧師のこと(吉田輝)、祖父の思い出(横山佳世子)、池田教会の思い出(グリーン・アイモン)、SMALL WORLD 池田教会からつながった物語(ノゾミ・サカキバラ・アスカロフ)、十勝に移住して池田教会で(磯貝高士)、吉田牧師と先人の情熱から(磯貝真理恵)、十字架の灯とみことばを(加納寛之)、日曜学校の思い出(丸山智恵)、丘の上に建つ小さな教会(對馬綾子)、教会学校での思い出(久木田花菜)、浦幌家庭集会、西尾キクエさん宅家庭集会のこと(榊原政裕)、池田教会の思い出(三浦京子)、池田教会の思い出(山田智嘉子)、池田教会と池田の地に感謝して(山之内初枝)、池田教会閉鎖に思う(山之内正俊)、忘れ難きぶどうの枝(山本雅啓)、池田教会思い出(狩野具男)、池田教会での結婚式(住尾幸恵)、池田教会の思い出(清水悦朗)、池田教会の思い出(増田正子)、大西さんご夫妻との出会いから(太田正人)、池田教会の思い出(太田満里子)、池田教会の思い出(中島康文)、思い出のキャンプ(渡辺せい子)、吉田康登牧師との出会い(渡辺昌子)、野の花を愛でた吉田先生の思い出(清水美年子)、故土井洋牧師の思い出(土井菜穂子)、輝く結婚式(徳成達廣・慶子)、池田教会の思い出(八代よし子)、吉田牧師との出会い(本間由禰子)、池田教会の思い出(廣部カオリ)、池田教会の思い出(青木久美恵)、池田教会の思い出(高井康)、池田教会の思い出(土橋カツ子)／第Ⅲ部 論考・資料編 すべては主の御計らい(岡田薫)、浦幌町(村)史に見る戦後開拓者としての吉田康登像(杉江英雄)、道東のルーテル教会の歩み、道東教職推移表／主要参考文献／主要報道記録／謝辞

◆日本の歴史を問いかける—山形県〈庄内〉からの挑戦

シリーズ地方史はおもしろい03

地方史研究協議会編 文学通信 (〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-35-6-201 Tel 03-5939-9027) 2021年3月 新書判 270頁 1500円+税

地域を考えるうえで重要な資・史料に焦点をあてて、学際的な面白さを広める地方史研究協議会の創立70周年記念新シリーズの第3冊。山形県〈庄内〉から日本の歴史を問いかける(今野章)／第1部 埋もれた歴史を掘り起こす 西郷隆盛の木像を鶴岡に(長岡伸治)、武芸者の祈り(田中大輔)、士族による開墾の美談に隠れた農民徴発(升川繁敏)、忘れ去られた歌人(藤田洋治)／第2部 知られざる庄内の姿 布教・信仰・禁圧の実態(河口昭俊)、諸藩の思惑が交錯する奥羽戊辰戦争(友田昌宏)、ある倉庫をめぐる攻防の歴史(三浦容子)／第3部 地域の歴史における庄内の特徴 江戸前期の農家のかたち(本間勝喜)、代官の新しい実像(小野寺雅昭)、江戸時代の庄内の伝染病とその対策(秋保良)、庄内藩士たちの宴会(今野章)／第4部 語り継ぎたい人物史 幻の戦国武将、鮭延秀綱(早川和見)、庄内藩叛逆首謀人 中老石原倉右衛門成知(阿部博行)、幕末に散った若きいのち

(小野寺裕)、森藤右衛門 東京へ行く(長沼秀明)／第5部 庄内史研究のための問題提起 証券で達成した蔵米取引の効率化(安部伸哉)、庄内における焼畑の記録と記憶をつなぐ(渡辺理絵)、地名誕生の謎を解き明かす(菅原義勝)／施設紹介

酒田市立光丘文庫、到道博物館、鶴岡市郷土資料館／庄内の歴史 略年表／あとがき／山形県〈庄内〉を知る資料

◆井上靖の原郷―伏流する民俗世界

野本寛一著 七月社 (〒182-0015 東京都調布市八雲台2-24-6 TEL042-455-1385)

2021年1月 四六判 220頁 2500円＋税

井上靖歿後30年記念出版。井上靖の「自伝風小説」を中心とした精緻な読みと、長年にわたるフィールドワークの成果から、作家の深奥に伏流する民俗世界を立体的に浮かび上がらせる。旅のはじめに／Ⅰ 井上靖の原郷―伏流する民俗世界(第一章 生きものへの眼ざし、第二章 植物との相渉、第三章 食の民俗、第四章 天城山北麓の冬、第五章 隣ムラ・長野へ、第六章 籠りの力、第七章 始原世界への感応、第八章 馬、第九章 狩野山―河川探索の水源)／Ⅱ 井上靖の射光―ある読者の受容／追い書き／井上靖作品名・書名索引

◆北区飛鳥山博物館 常設展示案内

北区飛鳥山博物館編 (〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133) 東京都北区教育委員会 (〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 TEL03-3908-9279)

2021年3月第2版(2011年3月初版) A4 120頁

平成10年3月開館、平成22年3月に常設展示をリニューアル・再オープンして現在に至る北区飛鳥山博物館の常設展示図録。14のテーマにて北区の自然・歴史・文化を紹介する。大地のおいたち(最終間氷期・最終氷期・後氷期)／最古の狩人(旧石器時代)／縄文人の暮らし(縄文時代)／弥生人のムラ(弥生時代)／古墳時代の夜明け(古墳時代前・中期)／豪族と民の時代(古墳時代後期)／律令社会と豊島郡衙(飛鳥・奈良・平安時代前期)／水と大地の支配者たち(平安時代後期・鎌倉・室町・戦国時代)／名所 王子・飛鳥山・滝野川(江戸時代)／日光御成道の風景(江戸時代)／荒川と共に生きる暮らし(明治・大正・昭和時代)／東京近郊の野菜と種苗(江戸・明治・大正・昭和時代)／地図にみる北区の近現代(明治・大正・昭和時代・現代)／荒川の生態系(現代)／常設展示協力者一覧

◆高木助一郎日記調査報告書2(第四号～第九号) 文化財研究紀要別冊29

東京都北区教育委員会教育振興部 飛鳥山博物館事業係編 東京都北区教育委員会(同上) 2021年3月 B5 245頁

平成22年に「北区指定有形文化財(古文書)」に指定されたから高木助一郎日記の調査報告書第2集。旧王子町役場土木課長・王子区会議員を務めた高木助一郎が、明治41年(1908)8月1日から昭和22年(1947)8月5日まで、計49冊にわたって書き綴られた日記のうち、第1集(2011年3月)に引き続き第4号から第9号(明治41年・

42年分)を翻刻・収録する。口絵／解説／研究報告 高木助一郎日記にみる十条の富士講(田中葉子)／凡例・例言／第四号 明治四十三年一月～六月／第五号 明治四十三年七月～十二月／第六号 明治四十四年一月～六月／第七号 明治四十四年七月～十二月／第八号 明治四十五年一月～六月／第九号 明治四十五年七月～十二月／挿絵一覧・凡例／調査関係者一覧

◆史料で解き明かす日本史—歴史学者の謎解きを迫体験する

松本一夫著 ベレ出版 (〒162-0832 東京都新宿区岩戸町12 レベッカビル TEL 03-5225-4790) 2021年4月 A5 389頁 1800円＋税

史料を通して歴史の新たな実像に迫った前著『疑問に迫る日本の歴史』(2017年、ベレ出版)に続き、鍵となる史料を丹念に読み解きながら40の謎の真相を解き明かす。はじめに／第1章 原始・古代(「縄文時代は豊かだった」というのは本当か、邪馬台国とヤマト王権にはつながりがあるのか、倭の五王の実像、大化改新の真偽に迫る、聖武天皇が遷都を繰り返したわけ、律令体制下における下級役人の悲哀、律令制度によって社会は変わったのか、桓武天皇の権威確立と二大事業との関係は?、国司が受領と呼ばれるようになったわけ)／第2章 中世(院政はどのように成立したのか、頼朝が平氏を打倒できたわけ、「得宗」成立の謎、鎌倉将軍家の四代以降の影が薄いのはなぜか、鎌倉時代の法律と裁判の驚くべき実態とは?、足利氏が幕府を開けたわけ、足利義満は本当に皇位篡奪を図ったのか、室町幕府は応仁・文明の乱の後 なぜ百年も続いたのか、七人の侍は実在とした!?、「喧嘩両成敗」は戦国大名の独創ではなかった)／第3章 近世(「長篠の戦い」論争—信長勝利の真の理由に迫る、太閤検地の本当のねらいとは、水戸黄門は本当に名君だったのか、サラリーマン武士成立のいきさつ、江戸時代は環境破壊の始まり!?、「名奉行大岡越前」はいかにして誕生したのか、悪代官は本当に多かったのか、江戸幕府の大名改易政策は本当か、天明の飢饉はある意味人災だった!?、江戸時代の農民に休日があったのか、江戸時代の庶民と読書事情)／第4章 近現代(実は江戸時代に始まっていた近代医療、地租改正をめぐる熾烈な駆け引きの真相、農業の近代化を成し遂げた知られざる偉人とは?、東海道本線ルートの謎に迫る、今日の大衆文化の原点は大正時代にあり、平民出身ではなかった原敬、真珠湾攻撃指揮官の苦悩、戦前・戦中も象徴天皇制だった!?、「銃後の人々」の本音とは、沖縄返還に翻弄された男)／おわりに

◆新型コロナ禍の無形民俗文化財 第15回無形民俗文化財研究協議会報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊 (〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43 無形民俗文化財研究室 TEL03-3823-4925) 2021年3月 A4 118頁

2020年9月25日に開催された「シリーズ 無形文化遺産と新型コロナウイルスフォーラム 1『伝統芸能と新型コロナウイルス』」に続く第2弾としてオンラインで開催された第15回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて

(東京文化財研究所無形文化遺産部)／はじめに 趣旨説明 コロナ禍における無形文化遺産(今石みぎわ)、無形民俗文化財とコロナ禍(鈴木昂太)、無形文化財とコロナ禍(前原恵美)／第1部 報告「各地の現状・課題と対応」 無形文化遺産における新型コロナウイルスの影響—滋賀県の事例(矢田直樹)、疫病退散の祭礼とコロナ禍—千葉県の状況と博物館(小林裕美)、観光の島におけるコロナ禍—山口県周防大島の無形民俗文化財・資料館(高木泰伸)／第2部 報告「伝承団体の取り組み」 大償神楽の伝承地外在住者に対する「能動的な」演者獲得の試み—「通い神楽」の実践から(吉田真彦)、島根県大元神楽の取り組み(宇都宮将)、福島県浜通りのじゃんがら念仏踊りの取り組み(田仲桂)、コロナ禍における讃岐の獅子舞と「獅子舞王国さぬき」(十川みつる)、東京讃岐獅子舞のオンライン活用(中川あゆみ)／第3部 総合討議 参加者：吉田真彦・宇都宮将・田仲桂・十川みつる・中川あゆみ、司会：久保田裕道／参考資料 アンケート集計結果

◆厚木市史 近代資料編(1)

厚木市教育委員会社会教育部文化財保護課文化財保護係編 厚木市 (〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17 Tel.046-225-2060) 2021年3月 A5 964頁
1985年から刊行が開始された『厚木市史』の第14回配本として、明治・大正時代の厚木市域の歴史を記録する資料を収録する。口絵／序(小林常良)／厚木の近代を学び直す(樋口雄一)／凡例／厚木市域近世三十六か村及び明治二十二年～昭和三十年厚木市合邦前の一町七村一覧図／厚木市域行政区画変遷表／第一章 明治時代前期(東征軍の進軍と村々、藩政改革と廃藩置県、変革に伴う武士の選択と生き残り、続く助郷・年貢の負担、地租改正、大区・小区制と行政組織、地方三新法、徴兵制の施行、西南戦争と愛甲郡、警察と取締り、社寺の維新、新制度と暮らし)／第二章 自由民権運動(国会開設運動と民権結社、地租軽減運動と村々、民権運動と変容と大阪事件、民権家の葬儀・追悼・墓碑その他)／第三章 明治時代後期(公文書からみた町・村政(村役場文書から、愛甲郡役所文書から)、経済・経営活動の実態、水利・灌漑、養蚕業の実態、青年会・互助会の活動、軍事・兵事と日清・日露戦争、交通の発達、庶民の娯楽・文化、農業経営の展開、感染症の流行と医療体制の整備(感染症の流行と避病院、愛甲郡権会の設立、灸治営業)、大日本帝国憲法体制下の天皇と庶民、キリスト教の布教活動(聖公会系)、日記・日誌等からみた庶民生活)／第四章 デモクラシーの時代(政治と行政、農業と養蚕、経済活動の活発化、第一次世界大戦と地域、男女青年団の活躍、交通の発展(鉄道交通、自動車交通、渡船)、衛生と消防組、社会変動と文化、関東大震災)／参考文献／索引(編年別索引、語句註索引)／資料提供者・機関及び協力者／市史編さん関係者／あとがき

◆北条氏照 シリーズ・中世関東武士の研究31

朝倉直美編著 戎光洋出版 (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビ

ル 8 F Tei03-5275-3361) 2021年5月 A5 373頁 7000円+税

北条氏照に関する研究について、単著論文集や再録論集に掲載されていない25編の論考を再録する。序にかえて(浅倉直美)／総論 北条氏照の研究(浅倉直美)／第1部 氏照の発給文書 八王子城主北條氏照の文書(杉山博)、北条氏照とその文書(下山治久)、新発見の北条氏照文書—三増峠合戦の実態をさぐる(下山治久)、新発見の「矢島文書」について(長倉智恵雄)、北条氏照の一書状(三鬼清一郎)、落合家文書について—北条氏照印判状のこと(佐々木蔵之助)、二つの「如意成就」印のこと—永禄六年発給の氏照印判状を読む(佐々木蔵之助)、北条氏照文書考(加藤哲)／第2部 氏照の生涯 北条氏照とは誰か(伊禮正雄)、「油井領」の性格(加藤哲)、北条氏照と八王子城(細谷勘資)／第3部 氏照の本拠 地域史研究と中世城館—武蔵・八王子城を素材として(土井義夫)、滝山城から八王子城へ(杉山博)、八王子築城をめぐる(加藤哲)／第4部 氏照の領国支配 北条氏照の由井領支配の開始—滝山城の入城治記について(下山治久)、後北条氏の南武蔵進出をめぐる(加藤哲)、八王子築城と竹木規制(加藤哲)、後北条氏の江の島支配をめぐる—特に氏照と江の島の関係について(伊藤一美)、天正期における北条氏照の家臣団統制(加藤哲)、北条氏照の小山領支配の確立(塚田雅信)、戦国大名北条氏の宗教政策(加藤哲)、北条氏照の軍隊編成(則武雄一)／第5部 氏照の外交 相越同盟交渉における北条氏照の役割(加藤哲)、越相同盟交渉における北条氏照の役割の再検討—第二次関宿合戦との関係から(儘田めぐみ)、北条氏の対外政策と北条氏照の役割(池上裕子)／初出一覧／執筆者一覧

◆歴史をひもとく藤沢の資料 別巻 中世文書

藤沢市文書館編・刊 (〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 Tei0466-24-0171)
2020年3月 A4 94頁

1967年から始まった藤沢市史編さん事業の成果として刊行された『藤沢市史資料 所在目録稿』1～25(1969年～1994年)などをふまえてまとめられた地区別『歴史をひもとく藤沢の資料』シリーズ(御所見地区(2016年)、村岡地区(2017年)、片瀬地区(2018年)、湘南台地区(2019年)、善行地区・湘南大庭地区(2020年))の別巻。藤沢市に伝来・所在する中世文書147点を収録する。口絵 中世文書の基礎知識、足利・上杉・北条氏略系図／凡例／文書解説 I 江島 岩本院文書(岩本院文書、(影)大坪文書、一色家古文書集)、II 江島 下之坊文書(下之坊文書、一色家古文書集、相州文書)、III 鎌倉郡文書(江島神社文書、本蓮寺文書、相州文書、小塚村名主家文書、慈眼寺文書、二伝寺文書、峯渡内村名主家所蔵文書)、IV 藤沢 森文書(森文書、峯渡内村名主家所蔵文書)、V 藤沢 堀内文書(堀内文書、(影)堀内文書、相州文書)、VI 高座郡文書(相州文書、雲昌寺文書、寶泉寺文書)、VII 流人文書(山之内村名主家文書、萬福寺所蔵文書、長谷川文書、内野家所蔵文書)／繙 江島神社の八臂弁才天坐像、小田原城の蓮池

弁天、宋国伝来の古碑、香林寺の弁才天、文書の封一折紙と切紙、文書の封一本紙と礼紙、花押、文書の封一堅切紙、戦国時代の郡・領、小田原城総構、「相中留恩記略」と採集文書、玉縄城の原形、遊行と藤沢・大鋸、戦国武将の印判、各地の「藤沢」、藤沢と丹波の堀内氏、北条家の「役帳」、中世文書の伝来／解題／参考文献／各節の所蔵者別文書目録

◆写真から見る伊那谷の近代と地域民俗 伊那民研叢書 6

柳田國男記念伊那民俗学研究所編・刊（〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 Tel0265-22-8118）2021年3月 A5 126頁 1000円
1990年の開設直後に刊行された「伊那民俗ボックス」（『伊那谷の民俗学を拓いた人々』Ⅰ・Ⅱ、1991・1992）をひきついで創刊された「伊那民研叢書」第6輯。伊那谷に残された写真資料の保存・活用の在り方を総合的に論じ、写真そのものから歴史や民俗を捉えようとする試み。貴重な写真を多数収録する。序章 伊那谷の近代写真と画像アーカイブの可能性（小川直之）／第一章 伊那谷を写した先人たち 市村咸人一下伊那郷土史の開拓者（伊坪達郎）、コラム 中馬をめぐる二つの記録ー市村咸人の撮影写真と澁澤敬三の撮影映像（櫻井弘人）、吉澤公男一写真館主が残した山村の姿（吉澤良公・原田瑞穂）、熊谷元一一生涯続けた農村記録（大石真紀子）、向山雅重一地を這う調査で民俗を探究（小池勝典）、塚原琢哉一下栗が写真家としての原点（櫻井弘人）／第二章 写真から地域民俗を読み解く 台所写真に見る生活様式の変化（今井啓）、写真が語る下伊那の養蚕（松上清志）、世相を映す婚礼衣装（片桐みどり）、下栗の塚原写真と民俗（作成弘人）、コラム 塚原写真と下栗の地域づくり（野牧和将）／図版出典一覧／おわりに（小川直之）／編集後記（柳田國男記念伊那民俗学研究所）

◆富士山東泉院の歴史

富士山かぐや姫ミュージアム編・刊（〒417-0061 静岡県富士市伝法66-2 Tel0545-21-3380）2021年3月 A4 127頁

戦国時代から富士郡下方における富士村山修験の拠点寺院として、また江戸時代以降も富知六所浅間神社をはじめとする下方五社浅間神社を掌握する別当として君臨しつづけてきた富士山東泉院。本書は、平成17年に東泉院の末裔にあたる六所家（故六所五郎氏・利子氏）から寄贈を受けた約4万7千点に及ぶ六所家旧蔵資料について、平成19年度から実施した総合調査事業の集大成となる概説本。口絵／序（富士山かぐや姫ミュージアム）／東泉院の歴史への招待（菊池邦彦）／第一章 富士山東泉院のはじまり（大高康正）／第二章 富士山縁起のかぐや姫伝説（秋山裕貴）／第三章 東泉院の境内と下方五社の変遷（井上卓哉）／第四章 受け継がれた二十一代の軌跡（井坂武男）／第五章 封建領主としての東泉院（菊池邦彦）／第六章 神仏習合のなかで（山本倫弘）／東泉院什宝紹介（高林晶子）／年表／執筆分担・謝辞・あとがき（木ノ内義昭）

◆ガチアンお勉強問題集

首藤善樹著 印刷：青山文芸社（〒518-0206 三重県伊賀市下川原571 Tel.0595-52-0627）2021年3月 A5 234頁

『修験道聖護院史辞典』（2014年、岩田書院）、『修験道聖護院史要覧』（2015年、岩田書院）など本山派修験道研究者である著者の、これまでの経験で得られた題材を中心とした日常生活のなかにおける話題の種640問を問題集形式でまとめた「わざくれ」（「ガチアン」は「月庵（造語）＝筆者」）。本書『問題集』に続き、テキスト『お勉強ノート』、文字・言葉『資料集』も企図。〔Qの部〕魚卵の章 いろは（手始め）、幼魚の章 みだれ（乱籠）、稚魚の章 ①②③（連続物）、ツバスの章 ことば、ハマチの章 宗教・神話、メジロの章 故事・民俗、ブリの章 日本史、大ブリの章 国語／〔Aの部〕魚卵の章、幼魚の章、稚魚の章、ツバスの章、ハマチの章、メジロの章、ブリの章、大ブリの章

◆綾部地域における文化資源の発掘と継承 君尾山光明寺文化財調査報告Ⅰ

京都府立大学文化遺産叢書20

岸泰子編 京都府立大学文学部歴史学科（〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 Tel.075-703-5271）2021年3月 A4 157＋83頁

京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産についての研究成果報告第20集。2018年度「綾部市君尾山光明寺の総合調査―「森の京都」における文化資源の発掘と活用」、2020年度「海と森の京都の総合による文化観光拠点の形成―舞鶴市東舞鶴地区と綾部市上林地区の文化資源の発掘と活用」の2件の京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR 研究代表者：横内裕人）の成果報告書。口絵／刊行にあたって（京都府立大学文学部歴史学科）／例言／目次／光明寺文書（解題（辻真澄）、光明寺・上林郷・藤懸家関係年表・情報一覧、目録、コラム1 近世における君尾山光明寺の存在形態（稲穂将士）、コラム2 丹波上林・君尾山と丹後祖母谷組の山林資源と利用、コラム3 君尾山光明寺と藤懸氏（正瑞千幸））／大般若経（本堂安置）（解題、目録）（横内裕人）／本堂仏具（解題、目録）（横内裕人）／本堂木札（解題、目録）（横内裕人）／木札（解説、写真）（山岸常人）／建造物（境内、仁王門、本堂、太子堂、鐘楼、行者堂、子安堂）（安部萌花・岸泰子・山岸常人）／史料編 光明寺文書 翻刻（辻真澄）、木札 釈文（山岸常人）

◆京都山伏山町文書調査報告 京都府立大学文化遺産叢書21

東昇・竹中友里代編 京都府立大学文学部歴史学科（同上）2021年3月 A4 142頁

京都府立大学文学部歴史学科研究成果報告第21集。2020年度実施「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」（基盤研究B 研究代表者：菱田哲郎）の研究成果の一部。口絵／刊行にあたって（京都府立大学文学部歴史学科）／例言／目次／祇園祭山鉾町 山伏山町の古文書調査（竹中友里代）／山伏山町文書解題（東

昇)／図版 現状記録(収納容器、土蔵木札)、地藏盆仏具の銘文記録、パネル展示(京都府立大学文化情報学研究室)／近世山伏山町の権威利用と差別化—聖護院・七條左京(齊藤久子)／「円地藏尊」と地藏信仰(豊田祥子)／近世近代の山伏山町の天王講と法要会(東昇)／夭折の漢学者 石津発三郎(竹中友里代)／「寄留人名簿」にみる明治10年代山伏山町の人口構成(安江範泰)／明治期祇園祭山伏山の装飾と菊水鉾町の寄進(竹中友里代)／山伏山町文書目録(京都府立大学文化情報学研究室)／史料翻刻(京都府立大学文化情報学研究室)／文化遺産僧侶リスト

◆あこのころの雲ヶ畑—京都雲ヶ畑写真資料調査報告

京都府立大学文化遺産叢書22

東昇・竹中友里代編 京都府立大学文学部歴史学科 (同上) 2021年3月 A4
142頁

京都府立大学文学部歴史学科研究成果報告第22集。2020年度実施「地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策」(京都府立大学地域貢献型特別研究

研究代表者：上杉和央)の研究成果の一部。刊行にあたって(京都府立大学文学部歴史学科)／例言／目次／雲ヶ畑の電柱生産(中村治)／宮内省御猟場と朝香宮・北白川宮(長谷川巴南)／京都御猟場の御猟と写真資料(東昇)／写真集 あこのころの雲ヶ畑—生活・服飾史／写真集 京都御猟場と御猟

◆講座・古代王権の興亡 第10回 日本の神話について(その7)

天孫降臨神話の成立 妙見山麓遺跡調査会紀要39

神崎勝著 NPOみょうけん (〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294
TEL0795-35-0555) 2021年3月 A4 20頁

NPOみょうけん(妙見山麓遺跡調査会)主催の新講座「古代王権の興亡」第10回(2021年2月20日)の記録。1.『古事記』の天孫降臨神話／2. 天孫降臨神話の祖型／3. 天孫の降臨(天降りの詞章、山上降臨の観想、降臨の主宰神と降臨神、笠狭之碕への「遊行」、天孫ニニギの安住の地)／4. 国譲り伝承の三類型(第一類の国譲り(禪譲型)について、第二類の国譲り(祓除型)について)／5. 神婚と御子の誕生／6. オシホミミの役割／7.『日本書紀』の天孫降臨神話(参考)／質疑応答／参考文献

◆講座・古代王権の興亡 第11回 日本の神話について(その8)

国譲り神話の成立 妙見山麓遺跡調査会紀要40

神崎勝著 NPOみょうけん (同上) 2021年4月 A4 30頁

NPOみょうけん(妙見山麓遺跡調査会)主催の新講座「古代王権の興亡」第11回(2021年3月20日)の記録。1. 記紀の国譲り神話(史料)／2. 国譲り神話の3類型(第一類・禪譲型—降臨神と国主事勝国勝長狭との問答と禪譲、第二類・祓除型—経津主神が葦原中国の荒振神を和平けれ物語、第三類・分治型—武甕槌神が出雲の大国主神に国譲りをせまる話)／3. 出雲大社の創祀始伝承(神代創祀説、垂

仁朝創祀説、斉明朝創祀説)／4. アメノホヒとアメノワカヒコ (アメノホヒ、ワカヒコとタカヒコネ／質疑／参考文献

◆西宮の漁労用具調査報告書 西宮市立郷土資料館所蔵漁労用具

西宮市文化財資料66

西宮市教育委員会編・刊 (〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町8-26) 2020年3月 A4 60頁

昭和50年代から令和元年までに西宮市立郷土資料館において収集した全1339点におよぶ漁労用具の調査報告書。『西宮の漁業—兵庫県西宮市の西宮浜の漁業調査報告書』(西宮市文化財資料第40号、1995年)、『中津の漁業—兵庫県西宮市の中津の漁業調査報告書』(西宮市文化財資料第50号、2006年)と対をなす。第1章 調査の経過／第2章 資料の記録(調査資料の概要、有形民俗文化財の指定について)／第3章 調査の記録(資料群GUについて、人々の暮らしの中の漁港・漁業)／第4章 解説／第5章 総括(西宮の漁労用具の特徴、大阪湾・瀬戸内海における西宮の漁業)／第6章 資料目録 分類項目別集計表(漁場関係用具、漁労用具、船関係用具、製作・修理用具、製造・加工用具、その他の道具)／第7章 写真資料編(西宮指定重要有形民俗文化財、古風景写真)

◆西宮歴史調査団年報 2018年度版

西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・刊 (〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298) 2020年3月 A4 29頁

西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成30年度における活動記録。2018年度の活動概要／第1章 古文書の調査／第2章 石造物の調査／第3章 竜吐水の調査／第4章 橋梁の調査／第5章 活動報告会／第6章 調査を終えて／付載「西宮歴史調査団通信」2018.4月号～2019.3月号

◆西宮歴史調査団年報 2019年度版

西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・刊(同上) 2020年10月 A4 32頁

西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成31年度における活動記録。2019年度の活動概要／第1章 古文書の調査／第2章 石造物の調査／第3章 竜吐水の調査／第4章 橋梁の調査／第5章 活動報告会／第6章 調査を終えて／付載「西宮歴史調査団通信」2019.4月号～2020.3月号

◆新備後古城記

田口義之著 福山文庫 (〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8) 2021年1月 A5 134頁 1000円＋税

備陽史探訪の会長も務める著者が、平成15年から534回にわたって地元紙『太陽新聞』に連載した「新備後今昔物語」の中から、旧備後国沼隈郡・深津郡(福

山市と尾道市の一部)の中世城館遺跡51箇所について、加筆訂正して収録する。発刊にあたって／山城用語の解説、本書に収録した山城分布図／旧深津郡の古城(高崎城、宗岡城、茶臼山城、宇治山城、王子山城、蔀山、蔵王山、沖之城、中根城、西山城、仁井山城、坪生要害、大門城山、手城島城)／旧沼隈町の古城(青ヶ城、神島城、佐波城、銀山城、串山城、小森城、御殿山、的場山城、別所城、栗田城、川上城、赤柴山城、藁江城、神村城、大場山城、兵庫城、大町山城、阿草城、関屋城、松尾城、嶽が端城、戸崎城、機織城、海老城、城ヶ端新城、岩淵城、天神山城、草深城、矢栗城、丸山城、中山城、鷹取城、半坂山城、甲谷城、一乗山城、軺城、大可島城)／コラム 城の移り変わり(『山城探訪』より)、山城の歩き方・見方、山城の種類、中世山城の城名について(『備陽史探訪』169号より)、畝状堅堀群(『備陽史探訪』178号より)、悪党の根城／主な参考文献

◆続さかいで塩物語 文化史さかいでシリーズⅦ

坂出市史編さん委員会編 坂出市(〒762-0043 香川県坂出市寿町1-3-38 坂出市史編さん所 TEL0877-44-4044) 2021年3月 A4 38頁

既刊『さかいで塩物語』(2019年2月)の続編。発刊の辞(坂出市長 綾宏)／古代から中世の頃の塩づくり／久米栄左衛門の造った坂出塩田以前の塩浜／塩づくり三種類の方法／入浜塩田に適した坂出の浜／久米栄左衛門の提言／塩田の計画図 塩田の完成図／塩田の築造とその技術／坂出塩田の構造／坂出塩田の特徴／釜屋・かん水溜の構造／入浜塩田の塩づくり／江戸や大坂に運ばれた塩／明治以降の新しい塩田／久米栄左衛門の顕彰／久米栄左衛門が坂出に残した足跡／掲載資料(図版等)一覧／編集後記(三野)

◆坂出市史 近世資料篇(その三)

坂出市史編さん所編(〒762-0043 香川県坂出市寿町1-3-38 勤労福祉センター2F TEL0877-44-4044) 坂出市刊(〒762-0007 香川県坂出市室町2-3-5) 2021年3月 A4 63頁

市制施行10周年記念『坂出市史』と市制40周年記念事業による年表編・資料編二冊(昭和63年)をうけて平成25年度から始まった新『坂出市史』編さん事業。本書では、『古代・中世篇』(2018年11月)、『近世資料篇(その一)』(2019年3月)、『近世資料篇(その二)』(2020年3月)につづき、阿河家文書から御用留1点(瀬戸内海歴史民俗資料館収蔵)を収録する。口絵／発刊の辞(坂出市長 綾宏)／凡例／嘉永四年・五年『御用留』「嘉永四年 同五子年 御用留 亥正月廿八日ヨリ」(阿河家文書)／解題 嘉永四年・五年『御用留』

◆坂出市史 通史上 原始・古代篇

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年12月 A4 212頁

昨年度刊行された新『坂出市史』通史下(地誌・生物篇、近代篇、現代篇)・「さかいでの民俗」に続く通史上のうち「原始・古代篇」として、坂出の旧石器時代

から古代末の平安時代までの移り変わりを叙述する。口絵／序(坂出市長 綾宏)／はじめに／第一章 旧石器時代(坂出市域の遺跡、旧石器時代の生活、旧石器人とは)／第二章 縄文時代(縄文時代の概観、コラム C14年代測定法、コラム 縄文式生活(土器の始まり)、コラム プラント・オパール、コラム 縄文土偶と山姥、香川地域の縄文社会と文化、坂出市域の縄文社会と文化、コラム ドングリの食品化と貯蔵穴)／第三章 弥生時代(弥生時代のはじまりと坂出、ムラと暮らし、金山石器の広域流通と特産品)／第四章 古墳時代(古墳時代のはじまり、坂出市域の古墳とその分布、古墳時代前期の坂出、古墳時代中期の坂出、古墳時代後期の坂出、古墳時代の終了、古墳時代の暮らしと文化)／第五章 律令国家の成立と展開(七～九世紀の概観、七世紀の坂出、コラム 人麻呂の居場所、讃岐国府と国司、コラム 印鑑一地名の不思議と難しさ、阿野・鵜足郡の人々と生活、コラム 堅穴建物の居住人数、生業と流通、コラム 瀬戸内海とクジラ、陸路と海路、コラム 古代の船、寺院と神社、コラム 瓦の文様と傷、綾氏と須恵器生産)／第六章 中世への胎動(転換する古代、藤原純友の乱、各地域の暮らしと荘園、在庁官人たち、仏教の展開、坂出にまつわる古代の伝承)／参考文献一覧

◆坂出市史 通史上 中世篇

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年12月 A4 281頁

新『坂出市史』通史上のうち「中世篇」として、坂出の中世、院政の幕開けから大坂城築城の頃までの歴史的移り変わりを叙述する。口絵／序(坂出市長 綾宏)／はじめに／序章 中世の開幕／第一章 院政の開始(白河・鳥羽院政下の讃岐国、崇徳上皇の讃岐配流)／第二章 武士の登場と台頭(治承・寿永の乱、鎌倉幕府の成立、讃岐府中と在庁官人、遊行する人々、コラム 俊乗房重源と讃岐)／第三章 発展する荘園(荘園公領制上の阿野郡、坂出市域の荘園と公領)／第四章 南北朝の動乱(鎌倉幕府崩壊と建武政権成立、南朝勢力の動向、観応の擾乱と細川顕氏、白峰合戦と細川頼之の支配、崇徳院没後の都鄙社会と慰霊、崇徳院関係荘園の変容、崇徳院と黒海荘)／第五章 守護の支配(讃岐守護細川氏、守護支配の展開、室町期の荘園制)／第六章 海を取り巻く様相(内海産業の発展、内海水運の発展と湊津、塩飽船の活動、備讃瀬戸探訪、コラム 「島と島を結ぶ」―塩飽島と小豆島)／第七章 戦国動乱の時代(戦国の開幕と在地勢力の伸張、信長の出現と瀬戸内海、コラム 塩飽に残るキリシタンの墓?、戦国の終焉、統一政権の塩飽支配、中世城館)／第八章 産業の発展と社会生活(村や島の経済と生活、坂出市域の古道と地名、中世から地名あれこれ、コラム 開法寺跡出土「保印」を巡って)／第九章 宗教と文化(寺社の興隆、白峯寺の展開と構造、寺社建築、文芸の諸相)／第十章 歴史・文化遺産(中世の墓と塚、中世石造物の展開、美術工芸と宗教文化)／第十一章 中世の終焉から新たな時代へ(生駒

氏の入部と統治、江戸幕府と塩飽諸島、大坂城築城と塩飽諸島、コラム 石の切り出し―矢穴と刻印)／参考文献一覧

◆坂出市史 通史上 近世篇(上)

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年12月 A4 308頁

新『坂出市史』通史上のうち「近世篇(上)」として、坂出の近世、坂出の村々の成立から讃岐三白の生産が盛んになる頃までの歴史的移り変わりを叙述する。口絵／序(坂出市長 綾宏)／はじめに／序章 近世の萌芽と幕開け／第一章 村の成立と塩田の築造(坂出市域の村々、村のしくみと暮らし、林野と村の暮らし、ため池の築造、坂出古浜の築造)／第二章 近世の塩飽諸島(櫃石島、岩黒島、与島、瀬居島、沙弥島)／第三章 生駒時代の讃岐と坂出市域(豊臣秀吉の四国国分け、生駒藩の成立と政治、知行地と蔵入地、寛永期坂出市域の村と島、生駒藩の御支配騒動)／第四章 松平頼重の入封と政治(高松松平藩の成立、高松藩初期藩政の展開、藩財政の状況、コラム 町と村の武士①)／第五章 交通の発達と坂出(陸上交通、コラム 関脇の城崎へ湯治旅、塩飽廻船の盛衰、コラム『犯科帳』に見る塩飽船の活動)／第六章 松平頼恭の政治と「享和新法」(宝暦の財政改革、頼恭の文化事業と藩学、享和新法と殖産興業、享和新法と林野制度改革)／第七章 商品生産の奨励と坂出市域(坂出市域と讃岐三白、坂出市域の楮栽培と紙漉業)／第八章 村と島をめぐる争い(村々の争い、コラム 伝徳谷争論に見る「黒山の人だかり」、塩飽大工騒動と与島・櫃石島、寛政の島政政策と瀬居島一件、コラム 塩飽の遠隔会議システム)／第九章 高松藩の天保改革(藩財政への取り組み、久米栄左衛門と坂出塩田、晩年の久米栄左衛門、砂糖為替金と林田浦砂糖会所、農村の取り締まりと坂出市域、幕府巡見使と藩主の領内巡視、コラム 町と村の武士② 東川津村大番組山口家、コラム 町と村の武士③ 坂出村大政所宮崎家、コラム 町と村の武士④ 西川津村政所高木家)／第十章 坂出塩田の築造(西新開と東新開・江尻新開の開発、天保期の新開と新浜塩百姓、坂出塩田の発展、坂出の海辺地域の変遷、坂出浜と潰れ浜)／第十一章 高屋浜の推移(高屋村と備前国傳兵衛との訴訟、堤普請と石波止の築造、高屋浜の石炭焚き、弘化四年の高屋浜被害、塩問屋と塩取り引き)／第十二章 砂糖生産の発展と坂出市域(甘蔗栽培と砂糖生産、砂糖生産の増大と積出浦の発展、砂糖生産の諸相)／第十三章 村の変容(商品経済の発展と農民層の分解、村の変容と生活と広がり、坂出村の発展、天保の飢饉と坂出打ちこわし、ため池と普請、第六節 坂出市域の災害の記憶)／参考文献一覧

◆坂出市史 通史上 近世篇(下)

坂出市史編さん所編(同上) 坂出市刊 2020年12月 A4 237頁

新『坂出市史』通史上のうち「近世篇(下)」として、坂出の近世、商品流通の盛んになった頃から明治維新期までの歴史的移り変わりを叙述する。口絵／序(坂

出市長 綾宏)／はじめに／第十四章 海運・漁業と坂出市域(坂出市域の諸浦と商品流通、諸国廻船と坂出市域、海運を支えた与島、坂出市域塩飽諸島の漁業、コラム 北前船とアッケシソウ、コラム 坂出塩を運ぶ賃貸廻船―難船記録から)／第十五章 近世身分制の成立と差別支配(中世から近世へ、近世身分制の成立と高松藩の身分制、被賤視身分と治安対策、高松藩の牛馬・皮革統制、被賤視身分の労働と暮らし)／第十六章 葬儀・仏事・婚礼儀礼と供応食(免場の活躍と村の葬式、先祖供養、大庄屋渡辺家の婚礼)／第十七章 非日常(ハレ)と日常(ケ)の食生活(正月行事と「ハレ」の日の食べ物、青海神社氏神祭礼、阿野郡北の贈答と商品札、料理と酒・「酒塩」と「煎酒」、日々の生活を支える食品)／第十八章 教育と学問(庶民教育と広がり、立本社と郷校、坂出市域の学問・武術)／第十九章 教養と文芸(村の蔵書、文化財保護の動き、坂出市域の郷土史・工芸・絵画)／第二十章 坂出市域の寺院(近世領主の寺院政策、寺院の建立と修復、寺院と地域社会)／第二十一章 坂出市域の神社(神社の建立と修復、神社の祭礼、北条念仏踊)／第二十二章 四国遍路(坂出市域の札所霊場、四国遍路と坂出市域、コラム 中務茂兵衛所縁の島から遍路)／第二十三章 高松藩軍事体制と坂出市域(ペリー来航と高松藩、阿野郡北の海防防備、農兵・歩兵と坂出市域、阿野郡北の軍事負担、塩飽水夫の動向、コラム 和田岬御台場築造に参加、青海村石工豊吉)／第二十四章 明治維新と農民騒動(明治新政府と坂出市域、綾北山林騒擾事件、川津村騒動、廃藩置県と蓑笠騒動)／終章 近代の「村」へ(「御一新」とは、村の「御一新」)／参考文献一覧

◆徳之島町「民俗文献」選集 徳之島町誌叢書

徳之島町誌編纂室編・刊(〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津2918 徳之島町生涯学習センター3階 TEL0997-82-2908) 2021年1月 A4 267頁

昭和45年編さんの『徳之島町誌』から半世紀を経て、新たな史・資料や研究成果を採り入れた平成29年度より編さん事業が開始された新『徳之島町史』本編(通史編・地域編・自然編)。本書は、編さん過程における収集資料などを紹介する「徳之島町誌叢書」の3冊目として、徳之島島内の民俗・民間伝承についての調査研究を集成する。徳之島全図／行政区画の変遷／民俗文献本文 第Ⅰ部 論文・調査報告編 高野洋志「聖地と葬地―鹿児島県大島郡徳之島町」、相田直美「徳之島における労力交換について」、和田正洲「徳之島の水神祭祀」、上江洲均「徳之島聞書」、瀬川清子「一重一瓶」、瀬川清子「南島資料(一)(二) 徳之島聴書」、松原武実「山のナゴリ山神社とムラの草創」、高野洋志「子供の死にかかわる三つの伝承―徳之島町 山」、仙田和恵「徳之島町花徳の盆」、前田輝「徳之島母間の盆」、松原武実「下久志のスイジン祭とミズカミ祭」、板谷徹・酒井正子「井之川の夏目踊り」、森隆男「徳之島の住まい―琉球文化とヤマト文化の間で」、山下欣一「徳之島(神之嶺・諸田)の英雄伝説の様態と生成―事例研究として」、

小林正秀〔編集〕『郷土資料第四集 徳之島の年中行事・亀津の年中行事』／民俗文献本文 第Ⅱ部 聞き取り資料編 加島繁満〔採集〕「昭和九年度 採集手帖 鹿児島県大島郡亀津村井之川」、町田進〔調査〕「鹿児島県民俗文化財分布調査調査票 徳之島町 山里」、町田進〔調査〕「鹿児島県民俗文化財分布調査調査票 徳之島町 井之川」、同志社女子大学南島研究会〔調査〕「徳之島調査レポートー2005年2月 母間地区調査」／「民俗文献」選集 著者一覧／調査協力者・機関一覧／附録 徳之島町教育委員会〔編〕『徳之島町 文化財のしおり』（平成二年ころ刊）／「徳之島の民俗」を知るための主要基本文献目録

◆後記

『東北宗教学』16(東北大学宗教学研究室、2020.12)掲載の奥堀亜紀子「土地の記憶とともにある石巻研究—序論的考察」を、タイトルに惹かれて読んだ。奥堀氏がはじめて石巻を訪ねたのは、東日本大震災から1年余が経過した2012年6月。大学での、生者の喪の作業の構造を解明するための研究に伴う演習によるものであった。被災した墓地で、壊れた墓に混じって新しい墓が設置されつつあることを、東京から来ていたアスベスト調査員が、被災者に心の余裕が出てきたのではないかと話すのを聞き、その言葉を素直に受け入れられなかったという。それから5年の歳月を経た2017年夏、神戸大学大学院博士課程を修了し、特別研究員の身分を得て、本格的な研究を目指して再訪する。当初は長期滞在用ホテル住まいであったが、やがて「住む」という方法論を意識するようになる。石巻周辺まで広げた調査活動やベルグソンの純粹知覚に基づく言説は割愛し、「住む」ことの意味を綴った後段の感銘深い一文を引用する。「自らも同じ町でご飯を食べて、仕事をして、眠って起きて、大事な人たちと暮らす。震災前から石巻の人たちがそうであったように、自分もこの町で暮らしていくその単純な日常の中で、自分の経験した感情も含めて、研究を続けていく。町のリズムを知りながら研究を進めていくこの研究の手法は、いま思えば東〔飯澤注：『ヒロシマノワール』（インパクト出版社、2014）の著者東琢磨氏〕が言うところの土地の記憶の中に入って行く地域研究に近いものだったのかも知れない」。奥堀氏にとっても、また地域にとっても素晴らしい研究成果が生み出されるであろうことが予感される。（飯澤）

地方史情報 150 2021年(令和3年)7月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。